

図1: 既存システム概要図

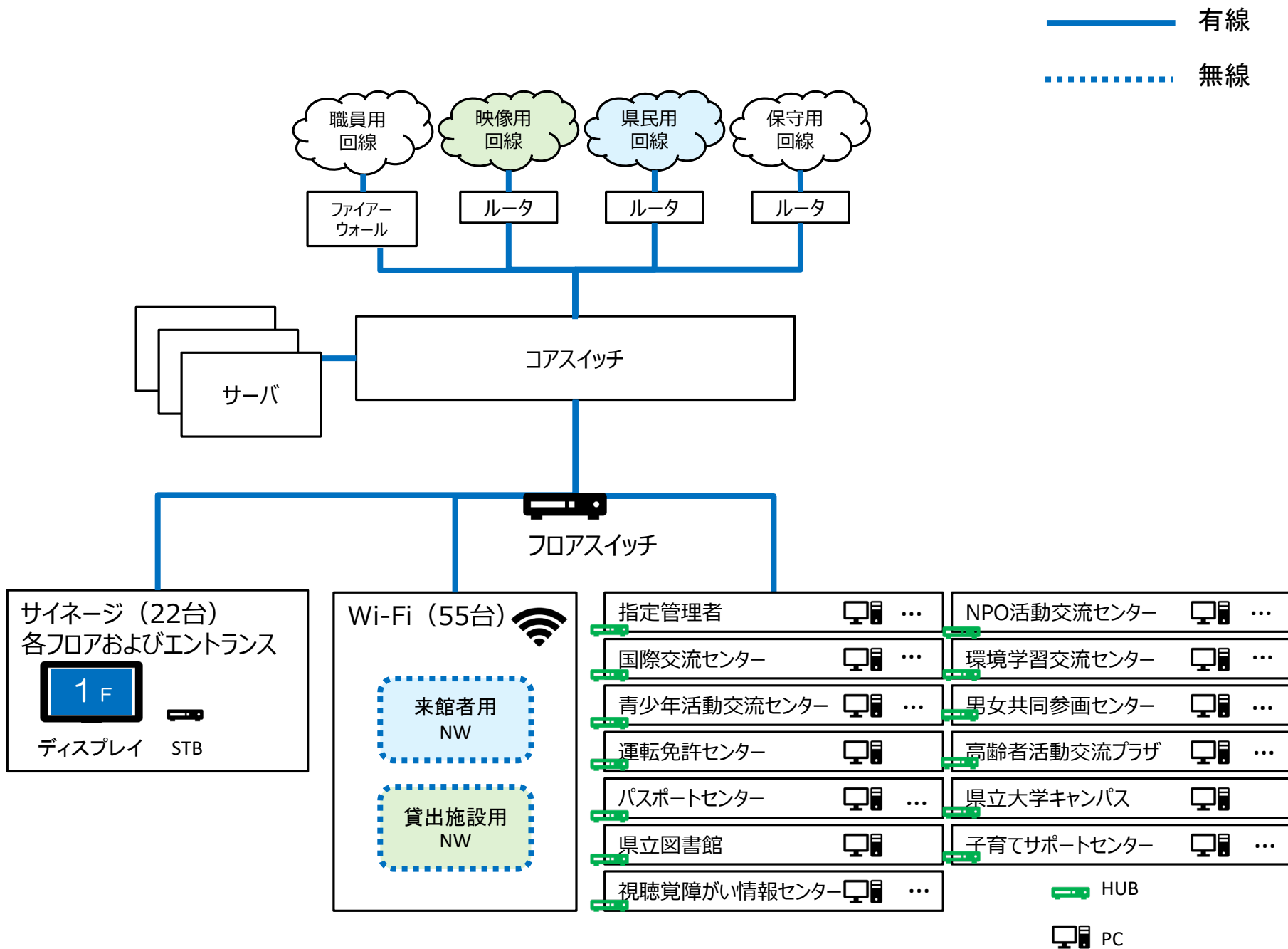


図2

# 新システム概要図

## 館内ネットワーク全体イメージ

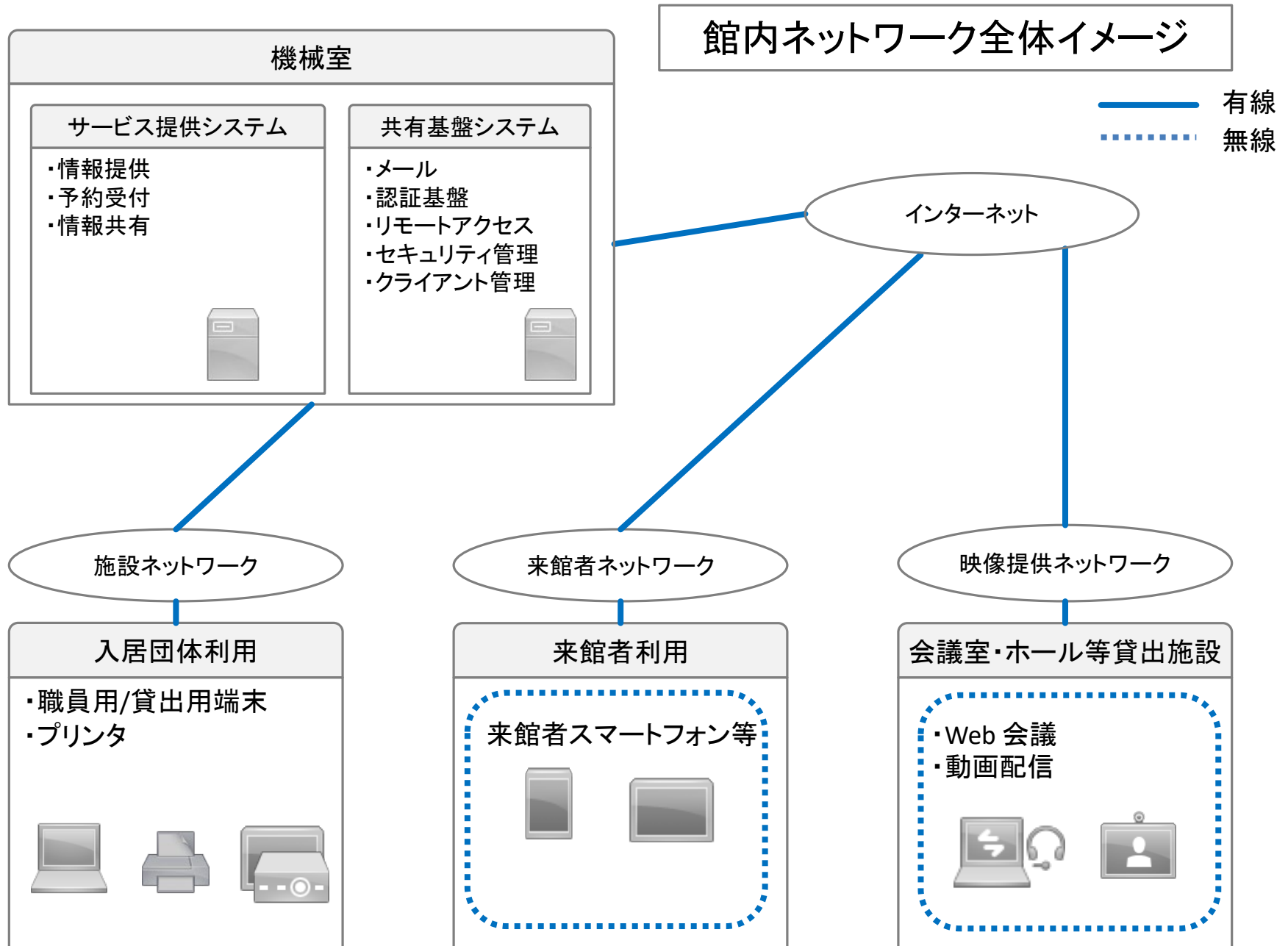


表 1 : 整備内容一覧

略称	名称	台数
L2SW-A	レイヤ2スイッチA	11
L2SW-B	レイヤ2スイッチB	1
L2SW-C	レイヤ2スイッチC	1
Wi-Fi	Wi-Fi	57
RT	ルータ	3
FW-A	ファイアウォールA	2
FW-B	ファイアウォールB	2
L3SW	レイヤ3スイッチ	2
SV	サーバ	3
UPS	無停電電源装置	3
HUB	HUB	26
調達PC (ノート)	ノートパソコン	31
調達PC (デスクトップ)	デスクトップパソコン	58

(55台+予備2台)

機器性能については別紙1を参照することとする

現行機器内訳

略称	機器名	台数
L2SW-A	AT-x530L-52GPX-Z5	11
L2SW-B	AT-SH230-10GP-Z5	1
L2SW-C	AT-SH230-10GT-Z5	1
Wi-Fi	ぎがらくWi-Fi	58
RT	RTX1220	3
FW	ファイアウォール	2
L3SW	AT-x950-28XTQm-Z5	2
SV	NX-1175S-G9	3
UPS	APC Smart-UPS 3000	3
DP-A	55型 インフォメーションディスプレイ 4K	8
DP-B	21.5型 FHDモニター (VESA100×100対)	22
STB	アドバンストコントローラー	20

(55台+予備3台)

<p>装置単体で10/100/1000BASE-Tのインターフェースを48ポート以上有すること。</p> <p>装置単体でSFP/SFP+スロットを4つ以上有すること。</p> <p>IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX、IEEE 802.3ab 1000BASE-T、IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10に準拠したSFPを搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離80kmのSFP(Small Form-factor Pluggable)を搭載可能なこと。</p> <p>IEEE 802.3ab 1000BASE-T、IEEE 802.3bz 2.5GBASE-T/5GBASE-T、IEEE 802.3an 10GBASE-T、IEEE 802.3ae 10GBASE-LR/SR に準拠したSFP+(Small Form-factor Pluggable+)を搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離80kmのSFP+(Small Form-factor Pluggable+)を搭載可能なこと。</p>
<p>装置単体でスイッチングファブリックは506Gbps以上であること。</p> <p>装置単体でMACアドレス登録数は16,384以上であること。</p>
<p>装置単体でIEEE 802.1Qに準拠した4,094以上のVLANを設定可能なこと。</p> <p>VLANの種類として、ポートベースVLAN、IEEE 802.1QタグベースVLAN、IPサブネットベースVLAN、プロトコルベースVLAN、マルチプルVLAN、Voice VLANの各VLANに対応可能なこと。</p> <p>IEEE 802.1AX-2008 に準拠したLink Aggregation (static and dynamic) 機能を有すること。</p> <p>IEEE 802.1D-2004およびIEEE 802.1Q-2005準拠のスパンニングツリー機能を有すること。</p> <p>ポートミラーリング、リモートミラーリング機能を有すること。</p> <p>RFC3619に準拠したレイヤー2のリング型冗長化機能を有すること。</p> <p>ITU-T G.8032 に準拠したレイヤー2のリング型冗長化機能を有すること。(但しライセンス適用は可とする)</p> <p>IEEE 802.1ag に準拠したイーサネットCFM機能を有すること。(但しライセンス適用は可とする)</p>
<p>ソフトウェアを変更することなく、スタティックルーティング、ポリシーベースルーティング、RIPv1/v2、RIPng、OSPFv2、OSPFv3、PIM-SSMv4、PIM-SMv4、PIM-DMv4、PIM-SSMv6、PIM-SMv6、BGP機能を有すること。(但しライセンス適用は可とする)</p>
<p>DHCPサーバー機能を有すること。</p> <p>DHCPリレー機能を有すること。</p>
<p>スタックケーブルで機器間(最大8台)を接続することにより、仮想的に1台の装置として扱うことができる、スタック機能(以下、スタック)を有すること。</p> <p>スタック接続されている装置間では、コンフィグ、FDB、ARPテーブル、IPルーティングテーブル等の各種情報を同期することが可能なこと。</p> <p>スタック接続した際は装置間の帯域を80Gbps (双方向) 以上有すること。</p> <p>最大80kmの長距離スタックが可能なこと。</p> <p>スタックケーブルやスタックポートに障害が発生し、スタックが分断されマスターが複数存在する構成となった場合に、一方のスイッチのスイッチポートを無効化する機能を有すること。</p>
<p>特殊フレームの送受信によりループを検出する機能に対応し、ループを検出した場合には、ポートをリンクダウンさせるなど設定した動作を自動実行可能なこと。</p> <p>ループを検出した際の動作に付随して、ポートLEDを点滅させることにより、視覚的に知らせる機能を有すること。</p>
<p>製品間で管理専用ネットワークを自動構成し、ネットワークの管理・保守作業を効率化する機能を有しており、メンバーノードとして動作可能であること。</p> <p>メンバーノードの機器交換時に、バックアップデータからファームウェア、コンフィグ、スクリプトなどを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>異なる機種間での機器交換時に、バックアップデータからコンフィグを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p>

<p>ネットワーク仮想化機能に対応していない機器の情報をメンバーノードで収集し、マスターノードに通知可能であること。</p> <p>脅威検知アプリケーションからの通知をマスターノードと共有し、マスターノード配下のメンバー機器で脅威を検知した通信を遮断可能であること。</p>
<p>IEEE 802.3af準拠のPoE、およびIEEE 802.3at準拠のPoE+機能を持ったポートを48ポート以上搭載していること。</p> <p>1ポートあたり30W以上、装置全体で740W以上のPoE給電が可能であること。</p> <p>PoE給電を停止せず機器の再起動が可能であること。（但しライセンス適用は可とする）</p>
<p>OpenFlowスイッチとして動作可能なこと。（但しライセンス適用は可とする）</p>
<p>Telnet（クライアント/サーバー）機能およびSecure Shell（クライアント/サーバー）機能を有すること。</p> <p>時刻同期を行うためにNTP（クライアント/サーバー）機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p> <p>外部メディア（USBメモリ）へログを転送できること</p> <p>決められた時刻や特定のイベントが発生したときに、任意のスクリプトを自動実行するトリガー機能を有すること。</p> <p>インターネットに接続された環境において、ライセンスをオンラインでインストール可能なこと。</p> <p>USBメモリにファームウェアやコンフィグファイルを直接アップロード/ダウンロード可能なこと。</p> <p>短時間でリンクダウン/アップを繰り返すポートフラッピング現象を検出し、当該ポートの自動シャットダウンが可能なこと。</p> <p>TDR (Time-Domain Reflectometry) 方式のカッパーケーブル診断機能を有すること。</p> <p>光ファイバーケーブルの受信光レベルを常時監視し、任意のしきい値を下回った場合に当該ポートのシャットダウンおよびSNMPトラップ通知が可能であること。</p>
<p>装置内にファームウェアを複数保存可能なこと。</p> <p>複数の設定ファイルを異なる名前で保存可能なこと。また、それらを必要に応じて切り替えて使用することが可能なこと。</p> <p>設定ファイルを直接編集するエディター機能を有すること。</p>
<p>最大消費電力が1050W以下であること。</p> <p>固定式冗長電源を有しており、電源の冗長が可能なこと。</p> <p>外形寸法は441（W）×421（D）×44（H）mm（突起部含まず）以下であり、19インチラックに収容可能であること。</p> <p>筐体の質量は7.2kg以下であること。</p> <p>動作時温度0～50°Cに対応していること。</p> <p>装置前面にUSBポートおよびコンソールポートを各1つ以上有すること。</p>
<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p> <p>装置固有のベンダー定義MIBが存在する場合にはそのMIB仕様を公開すること。</p>

ハードウェア構成	<p>装置単体で10/100/1000BASE-Tのインターフェースを8ポート以上有すること。</p> <p>装置単体でSFPスロットを2つ以上有すること。</p> <p>IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX、IEEE 802.3ab 1000BASE-T、IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10に準拠したSFPを搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離80kmのSFP(Small Form-factor Pluggable)を搭載可能なこと。</p>
パフォーマンス	<p>装置単体でスイッチングファブリックは40Gbps以上であること。</p> <p>装置単体でMACアドレス登録数は16,384以上であること。</p>
L2機能	<p>装置単体でIEEE 802.1Qに準拠した2,048以上のVLANを設定可能なこと。</p> <p>VLANの種類として、ポートベースVLAN、IEEE 802.1QタグベースVLAN、IPサブネットベースVLAN、プロトコルベースVLAN、マルチプルVLAN、Voice VLANの各VLANに対応可能なこと。</p> <p>IEEE 802.1AX-2008 に準拠したLink Aggregation (static and dynamic) 機能を有すること。</p> <p>IEEE 802.1D-2004およびIEEE 802.1Q-2005準拠のスパニングツリー機能を有すること。</p> <p>ポートミラーリング機能を有すること。</p> <p>RFC3619に準拠したレイヤー2のリング型冗長化機能を有すること。</p>
IP付加機能	DHCPクライアント機能を有すること。
ループ検出・抑止機能	<p>特殊フレームの送受信によりループを検出する機能に対応し、ループを検出した場合には、ポートをリンクダウンさせるなど設定した動作を自動実行可能なこと。</p> <p>ループを検出した際の動作に付随して、ポートLEDを点滅させることにより、視覚的に知らせる機能を有すること。</p>
ネットワーク仮想化機能	<p>製品間で管理専用ネットワークを自動構成し、ネットワークの管理・保守作業を効率化する機能を有しており、メンバーノードとして動作可能であること。</p> <p>メンバーノードの機器交換時に、バックアップデータからファームウェア、コンフィグ、スクリプトなどを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>異なる機種間での機器交換時に、バックアップデータからコンフィグを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>ネットワーク仮想化機能に対応していない機器の情報をメンバーノードで収集し、マスターノードに通知可能であること。</p> <p>脅威検知アプリケーションからの通知をマスターノードと共有し、マスターノード配下のメンバー機器で脅威を検知した通信を遮断可能であること。</p>
PoE機能	<p>IEEE 802.3af準拠のPoE、およびIEEE 802.3at準拠のPoE+機能を持ったポートを8ポート以上搭載していること。</p> <p>1ポートあたり30W以上、装置全体で124W以上のPoE給電が可能であること。</p>
運用・管理機能	<p>Telnet (クライアント/サーバー) 機能およびSecure Shell (クライアント/サーバー) 機能を有すること。</p> <p>Web GUI を実装し、Webブラウザを利用した保守・管理が可能なこと。</p> <p>時刻同期を行うためにNTPクライアント機能を有すること。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p> <p>外部メディア (SDカード) へログを転送できること</p> <p>決められた時刻や特定のイベントが発生したときに、任意のスクリプトを自動実行するトリガー機能を有すること。</p> <p>SDカードにファームウェアやコンフィグファイルを直接アップロード/ダウンロード可能なこと。</p> <p>短時間でリンクダウン/アップを繰り返すポートフラッピング現象を検出し、当該ポートの自動シャットダウンが可能なこと。</p> <p>TDR (Time-Domain Reflectometry) 方式のカッパーケーブル診断機能を有すること。</p> <p>光ファイバーケーブルの受信光レベルを常時監視し、任意のしきい値を下回った場合に当該ポートのシャットダウンおよびSNMPトラップ通知が可能であること。</p>

ソフトウェア関連	装置内にファームウェアを複数保存可能なこと。 複数の設定ファイルを異なる名前で保存可能なこと。また、それらを必要に応じて切り替えて使用することが可能なこと。 設定ファイルを直接編集するエディター機能を有すること。
実装形態	最大消費電力が180W以下であること。 外形寸法は210 (W) × 275 (D) × 42.5 (H) mm (突起部含まず) 以下であり、19インチラックに収容可能であること。 筐体の質量は2.1kg以下であること。 動作時温度0~50°Cに対応していること。 装置前面にSD/SDHCカードスロットおよびコンソールポートを各1つ以上有すること。
その他	日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。 装置固有のベンダー定義MIBが存在する場合にはそのMIB仕様を公開すること。



ハードウェア構成	<p>装置単体で10/100/1000BASE-Tのインターフェースを8ポート以上有すること。</p> <p>装置単体でSFPスロットを2つ以上有すること。</p> <p>IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX、IEEE 802.3ab 1000BASE-T、IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10に準拠したSFPを搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離80kmのSFP(Small Form-factor Pluggable)を搭載可能なこと。</p>
パフォーマンス	<p>装置単体でスイッチングファブリックは40Gbps以上であること。</p> <p>装置単体でMACアドレス登録数は16,384以上であること。</p>
L2機能	<p>装置単体でIEEE 802.1Qに準拠した2,048以上のVLANを設定可能なこと。</p> <p>VLANの種類として、ポートベースVLAN、IEEE 802.1QタグベースVLAN、IPサブネットベースVLAN、プロトコルベースVLAN、マルチプルVLAN、Voice VLANの各VLANに対応可能なこと。</p> <p>IEEE 802.1AX-2008 に準拠したLink Aggregation (static and dynamic) 機能を有すること。</p> <p>IEEE 802.1D-2004およびIEEE 802.1Q-2005準拠のスパニングツリー機能を有すること。</p> <p>ポートミラーリング機能を有すること。</p> <p>RFC3619に準拠したレイヤー2のリング型冗長化機能を有すること。</p>
IP付加機能	DHCPクライアント機能を有すること。
ループ検出・抑止機能	ループを検出した際の動作に付随して、ポートLEDを点滅させることにより、視覚的に知らせる機能を有すること。
ネットワーク仮想化機能	<p>製品間で管理専用ネットワークを自動構成し、ネットワークの管理・保守作業を効率化する機能を有しており、メンバーノードとして動作可能であること。</p> <p>メンバーノードの機器交換時に、バックアップデータからファームウェア、コンフィグ、スクリプトなどを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>異なる機種間での機器交換時に、バックアップデータからコンフィグを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>ネットワーク仮想化機能に対応していない機器の情報をメンバーノードで収集し、マスターノードに通知可能であること。</p> <p>脅威検知アプリケーションからの通知をマスターノードと共有し、マスターノード配下のメンバー機器で脅威を検知した通信を遮断可能であること。</p>
運用・管理機能	<p>Telnet (クライアント/サーバー) 機能およびSecure Shell (クライアント/サーバー) 機能を有すること。</p> <p>Web GUI を実装し、Webブラウザを利用した保守・管理が可能なこと。</p> <p>時刻同期を行うためにNTPクライアント機能を有すること。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p> <p>外部メディア (SDカード) へログを転送できること</p> <p>決められた時刻や特定のイベントが発生したときに、任意のスクリプトを自動実行するトリガー機能を有すること。</p> <p>SDカードにファームウェアやコンフィグファイルを直接アップロード/ダウンロード可能なこと。</p> <p>短時間でリンクダウン/アップを繰り返すポートフラッピング現象を検出し、当該ポートの自動シャットダウンが可能なこと。</p> <p>TDR (Time-Domain Reflectometry) 方式のカッパーケーブル診断機能を有すること。</p> <p>光ファイバーケーブルの受信光レベルを常時監視し、任意のしきい値を下回った場合に当該ポートのシャットダウンおよびSNMPトラップ通知が可能であること。</p>
ソフトウェア関連	<p>装置内にファームウェアを複数保存可能なこと。</p> <p>複数の設定ファイルを異なる名前でも保存可能なこと。また、それらを必要に応じて切り替えて使用することが可能なこと。</p> <p>設定ファイルを直接編集するエディター機能を有すること。</p>
実装形態	<p>最大消費電力が16W以下であること。</p> <p>外形寸法は263 (W) × 179 (D) × 38 (H) mm (突起部含まず) 以下であり、19インチラックに収容可能であること。</p> <p>筐体の質量は0.77kg以下であること。</p>

	<p>動作時温度0~50°Cに対応していること。</p> <p>ファンレス設計であること。</p> <p>装置前面にSD/SDHCカードスロットおよびコンソールポートを各1つ以上有すること。</p>
その他	<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p> <p>装置固有のベンダー定義MIBが存在する場合にはそのMIB仕様を公開すること。</p>

項目	仕様
準拠規格	IEEE802.11ax ac/n/a/g/b
アンテナ数	4×4
PoE給電	対応 (802.3at)
消費電力	30W
サイズ	306(W)×128(D)×44(H)mm
動作温度範囲	0°C～40°C
動作湿度範囲	5% to 95%
通信許可が必要なポート番号	TCP:80,443,7734,7752 UDP:53,123,1812,7351,9350

■提供機能について、以下の機能を有すること。

	提供機能	内容
1	高速Wi-Fi	高速無線通信規格IEEE802.11axに対応
2	モバイル端末同時接続	1台の装置に多数のモバイル端末を接続しても快適に利用可能（最大100台推奨）
3	MACアドレス認証	SSID毎に、あらかじめ登録したMACアドレスの端末のみにWi-Fiの接続を限定（SSIDは最大15個まで）
4	SSID毎にVLAN設定	業務用SSID毎にVLANタグを設定し社内のネットワーク設計に対応可能
5	通信帯域設定	SSID毎、または、モバイル端末あたりの通信帯域を設定
6	無線自動チャンネル設定	電波干渉の少ない無線チャンネルを定期的に自動で選択
7	5GHzへの優先接続	電波干渉の少ない5GHzを優先的に利用してモバイル端末と接続
8	電波のオン・オフ設定	SSID毎に電波のオン・オフの週間スケジュールを設定し、夜間の業務時間外は電波を停止するなどの使い方ができる
9	来訪者向けWi-Fiインターネット	来訪者向けに社内システムへのアクセスを遮断したWi-Fiインターネット
10	接続ユーザー認証 ※1	SSID毎にあらかじめ登録したIDとパスワードを入力した端末のみにWi-Fiの接続を限定
11	Facebook Wi-Fi	店舗のFacebookにチェックインした来訪者にWi-Fiインターネットを可能にする
12	Japan Wi-Fi ※2	日本全国のフリーWi-Fiに接続できる無料アプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」に対応するSSIDを設定可能
13	無線マルチホップ	2台の装置間を無線で接続し、LAN配線なしでWi-Fiエリアを拡張
14	電波出力自動調整	高密度にWi-Fiアクセスポイント装置を設置しても、自動で電波出力を調整して干渉を減らしパフォーマンスを最適化
15	ブラウザ認証（メール&SNS） ※2	通常のSSIDの選択とパスワードの入力からではなく、メールアドレス・SNSアカウントでWi-Fiに簡単に接続できる
16	ダッシュボード（利用状況表示画面）	専用のWEBページにお客さまのWi-Fi利用状況を表示。トラフィック、アプリケーションの種類を解析してグラフ表示
17	指定アプリケーションブロック	業務に関係ないアプリケーションの接続をロックすることが可能
18	アプリケーション帯域制御	業務に関係のない動画共有サイトやSNSなどアプリケーション別に通信帯域を設定可能
19	指定webサイト表示	来訪者向けWi-Fiインターネット利用時に、指定したWebページを表示
20	お客さまサーバー連携	お客さまのRadiusサーバーと認証連携が可能

※1 ID/PASS認証(EAP-PWAP)について

- ・クラウドがRadiusサーバ機能を提供するため、認証サーバを設置することが不要
- ・事前に申請された許可対象ユーザIDのリストに基づいて、ユーザID・パスワードによる認証を行う
- ・認証は、WPA2-EnterpriseおよびIEEE802.1X（EAP-PEAP）に準拠
- ・許可対象ユーザIDは、SSID単位で設定する
- ・ユーザIDは、メールアドレス形式である必要がある
- ・パスワードは、ユーザIDのメールアドレスに対してメールを送付

※2 「Japan Connected-free Wi-Fi」アプリまたはブラウザ認証機能によりWi-Fiへ接続した場合、通信が暗号化されません。

※3 一部の古い端末等では正常に動作しない場合があります。

ハードウェア構成	<p>GbE RJ45インターフェースを10ポート以上有すること。</p> <p>microSD用のインターフェースを1スロット有すること。</p> <p>コンソールポート用のRJ45インターフェースを1ポート有すること。</p> <p>USBインターフェースを1ポート有すること。</p> <p>重量は1.51kg以下であること。</p> <p>オプションのラックマウントキットによりルーター機器本体を1U以内に2台並べてマウント可能であること。</p> <p>外形寸法は221 (W) × 43 (H) × 240 (D) mm以内であること。</p> <p>最大消費電力は15W以下であること。</p>
機能・性能要件	<p>スループット 最大2.0Gbit/s 以上であること。</p> <p>IPsecスループット 最大1.5Gbit/s 以上であること。</p> <p>IPv4ルーティングプロトコル RIP, RIP2, OSPF, BGP4 (EBGP, IBGP) に対応可能なこと。</p> <p>アドレス変換機能について、NAT, IPマスカレード, 静的NAT, 静的IPマスカレード, DMZホスト機能, PPTPパススルーに対応可能なこと。</p> <p>認証機能について、RADIUS, PAP/CHAP, MS-CHAP/MS-CHAPv2に対応可能なこと。</p> <p>VPN機能でIPsec (VPN機能：NATトラバーサル, XAUTH) + AES128/256, 3DES, DES (暗号機能：ハードウェア処理) + IKEv1 (メインモード, アグレッシブモード) / IKEv2, IKEv2/IPsecリモートアクセス (PSK), PPTP (VPN機能) + RC4 (暗号機能), L2TP/IPsec, L2TPv3, L2TPv3/IPsec, IPIPトンネル, マルチポイントトンネル (サーバー/クライアント) に対応可能なこと。</p>
管理機能	<p>WebUI、CLIから設定管理が可能なこと。</p> <p>WebUIは日本語に対応可能なこと。</p> <p>SYSLOGの出力が可能なこと。</p>

ハードウェア構成	<p>ハードウェアおよびソフトウェアが一体で提供されるアプライアンス製品であること</p> <p>GbE RJ45インターフェースを8ポート以上有すること。</p> <p>10/5/2.5/GbE RJ45 または10 GbE SFP+/GbE SFP を利用できる共有メディアペアを2ポート以上有すること。</p> <p>シリアルコンソール用のインターフェースを1ポート有すること。</p> <p>USBインターフェースを1ポート有すること。</p> <p>オプションのラックマウントトレイによりファイアウォール装置本体を1U以内に2台並べてマウント可能であること。</p> <p>重量は1.12kg以下であること。</p> <p>最大消費電力は21W以下であること。</p>
機能・性能要件	<p>ファイアウォールスループットはUDPパケット1518バイトにおいて28Gbps以上、512バイトにおいて28Gbps以上、64バイトにおいて27.9Gbps以上であること。</p> <p>ファイアウォール同時セッション(TCP)は1,500,000セッション以上であること。</p> <p>ファイアウォール新規セッション(TCP)は124,000/秒以上であること。</p> <p>ファイアウォールポリシー数は5,000以上であること。</p> <p>ステートフルファイアウォールによる通信制御が可能なこと。</p> <p>IPsecVPN機能が搭載されていること。</p> <p>バーチャルファイアウォール（仮想システム）に追加料金なしで最大10システムまで対応可能なこと。</p> <p>セキュリティ機能として通信に対する、アンチウイルス、IPS、アンチスパム、Webフィルタ、アプリケーション制御に対応していること。</p> <p>アンチウイルスはプロキシモードとフローベースモードの方式に対応可能なこと。</p> <p>アンチスパムはSMTP/POP3/IMAPに対応可能なこと。</p>
管理機能	<p>WebUI、CLIから設定管理が可能なこと。</p> <p>WebUIは日本語に対応可能なこと。</p>

## ■サービス仕様・機器仕様

推奨同時接続機器台数 (パソコン・モバイルなど)	~100台	
スループット ※2	624Mbps	
インターフェース	WANポート：1、LANポート：8 (1000BASE-T/100BASE-TX)	
サイズ	外形寸法	幅：230mm、奥行：270mm、高さ：44mm
	重量	2.8kg
冷却ファン	あり	
電源仕様	AC電源	100-240V、1.7A、50/60Hz
	消費電力	60W
動作環境	動作温度	0°C~40°C
	保管温度	-20°C~80°C
	湿度	10~85%

## ■ネットワークセキュリティについて、以下の機能を有すること。

機能名		機能概要
不正アクセスブロック	不正プログラム対策	不正な通信、プログラムによる攻撃を検知。どこから、どこに、どんな通信が行われているか判別し、内部感染を早期に発見。C&Cサーバ通信の検知、Shellshockなど脆弱性を狙う攻撃などに対応 対応プロトコル：HTTP、HTTPS、FTP ※HTTPSは、HTTPS復号をONとした場合のみ動作
	webサイトアクセスブロック	不正webサイト、不正URLへのアクセスを止めることにより不正プログラムによる感染、フィッシング詐欺被害を未然に防止する機能。
不正侵入対策	ファイアウォール	攻撃のみをブロックし、適切なアプリケーショントラフィックだけを通貨させる機能。
	IPS (不正侵入防御)	許可されたトラフィックを調べ、悪意ある侵入や攻撃がないかを確認し、遮断する機能。
メールセキュリティ対策		メールに含まれる不正プログラムの検知やスパム (迷惑) メールを判定。検知・処理されたメールは、件名に、不正プログラム・機械学習型検索による検知は「ウィルス駆除済」、スパムメールは「スパムメール」を付与し、送信。 対応プロトコル：POP3、SMTP、IMAP、POP3S、SMTPS、IMAPS ※POP3S、SMTPS、IMAPSは各復号をONとした場合のみ動作。
URL指定によるアクセス制御		URLを指定し、アクセス許可されたカテゴリから、特定のサイトのみをブロック (ブラックリスト) したり、ブロックしたカテゴリから、特定のサイトのみをアクセス可能 (ホワイトリスト) とする。
アプリケーション利用制限		アプリケーションの利用制限を行う機能。日本独自のアプリケーションを含む1,000以上のアプリケーションをサポート。
不正サーバーへの通信検知時の電話・メールによる通知		内容 : 不正サーバーへの通信の検知時に連絡 電話連絡 : 9:00~21:00 (年中無休) メール連絡 : 24時間365日 (申込時に記載いただいた連絡先に通知 システムから自動配信)
専用BOX普通時のメールによる通知		内容 : 専用BOXがインターネットに接続できなくなった事象を検知してメールを実施 対応方法 : メール連絡 対応時間 : 24時間365日 (申込時に記載いただいた連絡先に通知 システムから自動配信)

ハードウェア構成	<p>装置単体で100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tのインターフェースを24ポート有すること。</p> <p>装置単体でQSFP+/QSFP28スロットを4つ以上有すること。</p> <p>拡張スロットを1つ以上有していること。</p> <p>別売のケーブルと組み合わせることで、40G QSFP+スロットを10G×4ポートとして使用できること</p> <p>IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX、IEEE 802.3ab 1000BASE-T、IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10に準拠したSFPを搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離80kmのSFP(Small Form-factor Pluggable)を搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離120kmのSFP(Small Form-factor Pluggable)を搭載可能なこと。</p> <p>IEEE 802.3ae 10GBASE-ER/LR/SR に準拠したSFP+(Small Form-factor Pluggable+)を搭載可能なこと。</p> <p>最大伝送距離80kmのSFP+(Small Form-factor Pluggable+)を搭載可能なこと。</p> <p>IEEE 802.3ba 40GBASE-CR4/SR4/LR4/ER4に準拠したQSFP+を搭載可能なこと。</p> <p>IEEE 802.3bm/ba/bj 100GBASE-SR4/LR4/CR4、SFF-8665 QSFP28に準拠したQSFP28を搭載可能なこと。</p>
パフォーマンス	<p>装置単体でスイッチングファブリックは1.92Tbps以上であること。</p> <p>装置単体でMACアドレス登録数は160,000以上であること。</p>
L2機能	<p>装置単体でIEEE 802.1Qに準拠した4,094以上のVLANを設定可能なこと。</p> <p>VLANの種類として、ポートベースVLAN、IEEE 802.1QタグベースVLAN、IPサブネットベースVLAN、プロトコルベースVLAN、マルチプルVLAN、UFO、Voice VLANの各VLANに対応可能なこと。</p> <p>Ethernet通信の暗号化とメッセージ認証を行うMACsec（事前共有鍵方式）に対応可能なこと。（但しライセンス適用は可とする）</p> <p>VXLAN機能を有すること。（但しライセンス適用は可とする）</p> <p>IEEE 802.1AX-2008 に準拠したLink Aggregation (static and dynamic) 機能を有すること。</p> <p>IEEE 802.1D-2004およびIEEE 802.1Q-2005準拠のスパニングツリー機能を有すること。</p> <p>ポートミラーリング、リモートミラーリング機能を有すること。</p> <p>RFC3619に準拠したレイヤー2のリング型冗長化機能を有すること。</p> <p>ITU-T G.8032 に準拠したレイヤー2のリング型冗長化機能を有すること。（但しライセンス適用は可とする）</p> <p>IEEE 802.1ag に準拠したイーサネットCFM機能を有すること。（但しライセンス適用は可とする）</p>
L3機能	<p>ソフトウェアを変更することなく、スタティックルーティング、ポリシーベースルーティング、RIPv1/v2、RIPng、OSPFv2、OSPFv3、VRF-Lite、PIM-SSMv4、PIM-SMv4、PIM-DMv4、PIM-SSMv6、PIM-SMv6、BGP、BGP+機能を有すること。（但しライセンス適用は可とする）</p>
IP付加機能	<p>DHCPサーバー機能を有すること。</p> <p>DHCPリレー機能を有すること。</p>
冗長機能	<p>スタックケーブルで機器間(最大8台)を接続することにより、仮想的に1台の装置として扱うことができる、スタック機能(以下、スタック)を有すること。</p> <p>スタック接続されている装置間では、コンフィグ、FDB、ARPテーブル、IPルーティングテーブル等の各種情報を同期することが可能なこと。</p> <p>スタック接続した際は装置間の帯域を40Gbps（双方向）以上有すること。また、スタックモジュールの変更により最大400Gbps（双方向）に拡張できること。</p> <p>最大80kmの長距離スタックが可能なこと。</p> <p>スタックケーブルやスタックポートに障害が発生し、スタックが分断されマスターが複数存在する構成となった場合に、一方のスイッチのスイッチポートを無効化する機能を有すること。</p>
ループ検出・抑止機能	<p>特殊フレームの送受信によりループを検出する機能に対応し、ループを検出した場合には、ポートをリンクダウンさせるなど設定した動作を自動実行可能なこと。</p> <p>ループを検出したポートLEDの点滅と全てのポートLEDの点滅を繰り返すことで、ループ検知を視覚的に知らせる機能を有すること。</p>
ネットワーク仮想化機能	<p>製品間で管理専用ネットワークを自動構成し、ネットワークの管理・保守作業を効率化する機能を有しており、コントローラを別途用意することなく、マスターノードとして動作可能であること。（但しライセンス適用は可とする）</p>

	<p>製品間で管理専用ネットワークを自動構成し、ネットワークの管理・保守作業を効率化する機能を有しており、メンバーノードとして動作可能であること。</p> <p>マスターノードから他の製品（メンバーノード）を操作することが可能であり、かつ複数のメンバーノードに対して一括してコマンドを発行することが可能であること。また、操作対象ノードの指定時に、役割や設置場所に応じて定義したグループを利用することができること。</p> <p>複数のメンバーノードのファームウェアを一括更新することが可能であること。</p> <p>メンバーノードの動作に必要なファイル（ファームウェア、ライセンス、コンフィグ、スクリプトなど）を定期的にバックアップする機能を有すること。</p> <p>メンバーノードの機器交換時に、バックアップデータからファームウェア、コンフィグ、スクリプトなどを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>異なる機種間での機器交換時に、バックアップデータからコンフィグを自動復元する機能を有すること。</p> <p>なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする。</p> <p>メンバーノードから通知されたネットワーク仮想化機能に対応していない機器を、本製品のマスターノード機能で管理可能であること。</p> <p>ネットワーク仮想化機能に対応していない機器の情報をメンバーノードで収集し、マスターノードに通知可能であること。</p> <p>最大180台のメンバーノードを管理できること。</p> <p>脅威検知アプリケーションからの通知をマスターノードと共有し、マスターノード配下のメンバー機器で脅威を検知した通信を遮断可能であること。</p>
SDN関連	OpenFlowスイッチとして動作可能なこと。（但しライセンス適用は可とする）
運用・管理機能	<p>最大185台の無線アクセスポイントを管理できる機能を有すること。（但しライセンス適用は可とする）</p> <p>管理対象の無線LANアクセスポイント周囲の電波出力、チャンネルを認識し、最適化する機能を有すること。</p> <p>ローミングレスの無線環境を構築可能であること。（但しライセンス適用は可とする）</p> <p>無線AP間の自律的な無線接続により、無線ネットワークの導入や拡張を効率化するスマートコネクタネットワークに対応していること。（但しライセンス適用は可とする）</p> <p>配下のネットワークを視覚的に表示するネットワークマップ機能を有すること。接続構成を表示する「トポロジーマップ」と無線LANコントローラーが管理しているアクセスポイントの電波到達範囲および強度を表示する「ヒートマップ」の2種類のマップに対応すること。</p> <p>Telnet（クライアント/サーバー）機能およびSecure Shell（クライアント/サーバー）機能を有すること。</p> <p>時刻同期を行うためにNTP（クライアント/サーバー）機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p> <p>外部メディア（USBメモリ）へログを転送できること</p> <p>決められた時刻や特定のイベントが発生したときに、任意のスクリプトを自動実行するトリガー機能を有すること。</p> <p>インターネットに接続された環境において、ライセンスをオンラインでインストール可能なこと。</p> <p>USBメモリにファームウェアやコンフィグファイルを直接アップロード/ダウンロード可能なこと。</p> <p>短時間でリンクダウン/アップを繰り返すポートフラッピング現象を検出し、当該ポートの自動シャットダウンが可能なこと。</p> <p>光ファイバーケーブルの受信光レベルを常時監視し、任意のしきい値を下回った場合に当該ポートのシャットダウンおよびSNMPトラップ通知が可能であること。</p> <p>産業用ネットワークに組み込んで、監視用端末からスイッチポートの情報を取得、設定変更に対応したMODBUS TCPのサーバー機能を有すること（但し、ライセンスの適用は可とする）</p>
ソフトウェア関連	<p>装置内にファームウェアを複数保存可能なこと。</p> <p>複数の設定ファイルを異なる名前で作成可能なこと。また、それらを必要に応じて切り替えて使用することが可能なこと。</p> <p>設定ファイルを直接編集するエディター機能を有すること。</p>
実装形態	電源の冗長が可能なこと。



	<p>電源ユニットとファンモジュールの両方を対応モデルに変更することで、リバースエアフローに対応可能であること。</p> <p>DC電源に対応していること。</p> <p>電源モジュール、ファンモジュールはホットスワップが可能なこと。</p> <p>外形寸法は441 (W) × 447 (D) × 44 (H) mm (突起部含まず) 以下であり、19インチラックに収容可能であること。</p> <p>筐体の質量は7.3kg以下であること。</p> <p>動作時温度0～50°Cに対応していること。(QSFP28モジュール使用時は0～45°C、リバースエアフロー使用時は0～40°C)</p> <p>装置前面にUSBポートおよびコンソールポート、マネジメントポートを各1つ以上有すること。</p>
その他	<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p> <p>装置固有のベンダー定義MIBが存在する場合にはそのMIB仕様を公開すること。</p>

ハードウェア	1) HCIクラスタは3ノード以上で構成すること。
	2) Intel製XeonプロセッサGold 5412U（24物理コア以上、動作周波数2.1GHz）以上を1ノードあたり1基以上搭載すること。
	3) 1ノードあたりDDR5 5000MHz以上規格のメモリモジュールを256GB以上搭載、クラスタ全体として768GB以上、1ノード停止状態で512GB以上であること。
	4) 1ノードあたり3.84TB以上のNVMeを2基、8TB以上のHDDを2基以上搭載し、クラスタ全体として実効容量57TB以上であること。また、1ノード停止した状態で実効容量が28.58TB以上確保されること。
	5) データ圧縮および重複排除機能を利用可能なディスク構成であること。
	6) 仮想化ハイパーバイザー起動用ストレージをSSD/HDDとは別に内蔵していること。
	7) 1ノードあたり10GBASE-T 接続用ネットワークポートを4基以上搭載すること。また、トランシーバ・ケーブル類を必要数量添付すること。
	8) ネットワークスイッチについては汎用的な10GBASE-Tスイッチに対応し、専用品指定でないこと。
	9) ハードウェア管理用1000BASE-Tポートを独立して備えること。
	10) 電源ユニットは冗長化されていること。また、100V電源環境においても冗長性が担保されるよう構成すること。
	11) ノード、電源ユニット、ディスク（SSD/HDD）についてはオンライン交換が可能であること。
	12) 6年間24時間365日のサポート受付、翌営業日日中のパーツ交換保守サービスが提供されること。
	13) Nutanix AHV相当の性能機能と判断されるOSを有すること。
ソフトウェア	1) HCIソフトウェアは単一の仮想マシン内に全機能が統合された状態で提供されるものであり、複数の製品やモジュールの組み合わせの結果で仮想化基盤として動作させるものでないこと。
	2) Nutanix AHV相当以上の性能機能と判断されるハイパーバイザを有すること。ハイパーバイザは仮想マシン自動配置機能（DRS）、HA機能、仮想分散スイッチと同等以上の機能を備えていること。
	3) 異なる仮想化ハイパーバイザー環境においても、HCIソフトウェア上から仮想マシンの電源操作やコンソール操作が可能であること。
	4) 異なる構成、機種、および異なるCPU世代のノードを、同一のHCIクラスタに対して追加可能であること。また、ノード数については最低で12ノード、あるいは必要ライセンスを追加することにより上限なく増設が可能な仕様であること。
	5) データ領域の圧縮および重複排除機能を有していること。
	6) ハードウェア制御のRAIDや外部接続のストレージ装置を用いずに、複数ノード間のローカルディスクを仮想的に統合し、ミラーを自動作成して常時データが保護される機構を備える、ソフトウェア制御による分散ストレージ機構を有すること。
	7) ディスク障害、ノード障害等によりミラー冗長データが損なわれた場合に、自動的に別ディスクに対してミラーを再作成し、冗長性が回復される自己修復機構を有すること。また、障害したパーツ交換後に手動での復帰処理が不要であること。
	8) ディスク障害または1ノードまでのノード障害が発生した場合に性能が縮退するものでないこと。また、ディスクが停止している間や復帰処理時にI/O性能が低下するものでないこと。
	9) 仮想マシンから最も近いSSDにデータを配置してネットワーク経由でのI/Oを極力発生させないアーキテクチャを有し、ストレージ専用のネットワークを構成する必要がないこと。

10) SSDをキャッシュとして占有することなく、実データ領域として利用することで10万IOPS以上のI/O性能を実現可能なアーキテクチャを有していること。
11) 複数世代を取得してもディスクI/O性能に影響がないスナップショットを、仮想マシン単位で世代上限無く作成可能であること。
12) HCI管理機能は日本語表示に対応し、HTML5対応ブラウザで表示操作が可能であること。クライアントに対しブラウザ以外のプラグインやアプリケーションを必要としないこと。
13) HCI管理機能上からハードウェアの管理、監視、ノード増設および撤去が実行可能であること。またノード増設、撤去時に仮想マシンを一切停止する必要がなく、性能にも影響がないこと。
14) 仮想化ハイパーバイザー、HCIソフトウェア、ハードウェア内のファームウェア、BIOSについてHCI管理機能や仮想マシンを一切停止することなく、自動でアップデートが可能であること。
15) ノード上の物理ポート、外部物理ネットワークスイッチの設定値とトラフィック状態についてもHCI管理機能上の仮想ネットワーク機能で集計、表示可能であること。
16) クラスタ内におけるハードウェアとソフトウェアの異常検知時にはSNMPおよび電子メールによる通知が可能であること。また、電子メール送付先にメーカーサポート窓口を設定することにより、自動で保守対応が開始される体制であること。
17) 24時間365日対応のハードウェア保守、およびソフトウェアサポートが6年間提供されること。

運転方式	ラインインタラクティブ方式であること。
入出力電圧	100V
筐体	ラックマウント型であること。 2U以内であること。
入力プラグ形状	NEMA L5-30P
出力プラグ形状	NEMA 5-15Rを6個以上有すること。
機能	サーバの自動シャットダウンに対応可能であること。 ネットワーク接続に対応可能であること。 負荷運転時間について、2000Wの負荷で5分以上運転が可能なこと。 本調達で導入するサーバ機器およびラックに搭載するネットワーク機器へ出力可能な容量を有すること。また、複数台での出力についても可とする。 本調達で導入する無停電電源装置の設置に伴い、電源工事が必要となった場合、受注者負担で対応すること。
管理機能	WebUIから設定管理が可能なこと。 WebUIは日本語に対応可能なこと。 電源異常時にUPS（無停電電源装置）と連携して、本調達で導入するサーバのシャットダウンを実施すること。 管理ソフトウェアを用意し設定すること。

対応機種	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab、IEEE802.3x対応機器
準拠規格	IEEE802.3 : 10BASE-T、IEEE802.3u:100BASE-TX、IEEE802.3ab:1000BASE-T、IEEE802.3x : Flow Control
規格	VCCI Class A
伝送速度 (規格値)	10Mbps (10BASE-T)、100Mbps (100BASE-TX)、1000Mbps (1000BASE-T)
データ転送方式	ストア&フォワード
サポート機能	Auto-Negotiation (10/100/1000,Full/Half-Duplex)機能、Auto-MDIX 機能、JumboFrame(9,216Bytes)対応、全ポートノンブロッキング転送、IEEE802.3x フローコントロール、バックプレッシャー機能サポート、不良パケットフィルタリング機能、ループ防止機能、おまかせ節電機能[リンク・ケーブル長]、EAPOL(IEEE802.1X)フレーム透過、
バッファ容量	192KBytes
伝送路符号化方式	マンチェスターコーディング(10BASE-T)、4B5B/MLT-3(100BASE-TX)、8B1Q4/4D-PAM5(1000Base-T)
アクセス方式	CSMA/CD
アドレステーブル	4,000件 セルフラーニング方式
ポート数	10/100/1000M 8ポート (全ポートAuto-MDIX機能搭載)
適合ケーブル	10BASE-T : UTP/STPカテゴリー3以上 100BASE-TX : UTP/STPカテゴリー5以上 1000BASE-T : UTP/STPカテゴリー5e以上
伝送距離	最大100m
スイッチング・ファブリック	16Gbps
端子形状	RJ-45型8極コネクタ
レイテンシー	1000M 64bytes時3.9 $\mu$ sec(S&F)
データ転送速度 (スループット)	14,881パケット/s(10BASE-T)、148,810パケット/s(100BASE-TX)、1,488,095パケット/s (1000BASE-T)
電源電圧	100V 50/60Hz
消費電力	最大4.0W
消費電流	最大0.08A
発熱量	14.4kJ/h

省エネ法に基づく表 記事項	エネルギー消費効 率 (W/Gbit/s)	D区分 0.4
	最大実効伝送速度 (Gbit/s)	8
	測定時のポート速 度とポート数	100Mbit/s : 0、1Gbit/s : 8
動作保証環境		温度 : 0~50°C
		湿度 : 10~85%
RoHS基準値		準拠

初期導入済OS	Windows 11 Pro 64bit（日本語版）
稼働確認OS	Windows 11 Home (64bit)、Windows 11 Pro (64bit)、Windows 11 IoT Enterprise LTSC (64bit)、Windows 10 Pro (64bit)、Ubuntu LTS 22.04
プロセッサ	インテル® Core™ i5-14400 プロセッサと同等品以上
プロセッサ動作周波数	2.5GHz
プロセッサコア数	10
プロセッサ・キャッシュ	20MB（メインプロセッサに内蔵）
統合メモリコントローラー	DDR5 4800, DDR4 3200
チップ・セット	インテル® Q670 チップセット
インテルAMT対応(バージョン)	非対応
vPro対応	非対応
セキュリティー・チップ(TPM)	あり(TCG V2.0準拠)
その他のセキュリティー機能	パワーオンパスワード、ハードディスクパスワード、スーパーバイザーパスワード、ケーブルロックスロット(3x7mm)
主記憶(RAM)容量(標準/最大)※4	8GB以上(8GBx1)(PC5-38400 DDR5 SDRAM UDIMM) / 64GB
主記憶(RAM)スロット数(空スロット数)	2(空1)
補助記憶装置(内蔵) HDD/SSD	500GB以上 SSD (M.2 2280, NVMe Gen4 Performance,TLC,OPAL2.0)
補助記憶装置(内蔵) RAID構成	なし
補助記憶装置(内蔵) CD/DVD/CD-R/Blu-ray	Ultra Slim DVDスーパーマルチ
オプティカルドライブタイプ	5.25 インチ(Ultra Slim タイプ、9.0mm)(固定式)
補助記憶装置(内蔵) メディアカードリーダー	なし
ビデオ・チップ	インテル® UHD グラフィックス 730（CPU内蔵）と同等品以上
ビデオRAM容量	内蔵グラフィックスの場合：メインメモリと共有
解像度および最大発色数	DisplayPort: 4096x2304ドット(1677万色)/HDMI: 4096x2160ドット(1677万色)
ディスプレイ ディスプレイサイズ(ドット・発色)	なし
ディスプレイ セットディスプレイ名称/製品番号	なし
インターフェース(ポート)	USB（標準）×9（前面USB 3.2 Gen1 x 4、USB3.2 Gen1 Type-C x 1(最大 15W 電源供給/USB データ転送機能に対応)、背面USB 2.0 x 4)、HDMI x1、DisplayPort x1、RJ-45 x1、マイク入力 x 1、マイク入力/ヘッドフォン出力コンボジャック x 1(前面)
ネットワークコントローラー	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (Wake on LAN対応) オンボード
ワイヤレス	なし
WWAN	なし
Bluetooth※4	なし
内蔵カメラ	なし
オーディオ機能	インテル® ハイデフィニション・オーディオと同等品以上
スピーカー	内部モノラルスピーカー
マイクロホン	なし
PCI Express x16	搭載なし：1(空1) ハーフレンクス・ロープロファイルGen.3.0(最大155mm(奥行き)、70mm(高さ)までサポート) / 搭載あり：構成依存(※1)
PCI Express x1	搭載なし：1(空1) ハーフレンクス・ロープロファイルGen.3.0(最大155mm(奥行き)、70mm(高さ)までサポート) / 搭載あり：構成依存(※1)
M.2 2230	搭載なし：1(空1) / 搭載あり：構成依存(※1)
M.2 2280	搭載なし：1(空1) / 搭載あり：構成依存(※1)
拡張ストレージベイ	搭載なし：5.25型：5.25型オプティカルドライブ×1(空1)(Ultra Slimタイプ、9.0mm)、3.5型HDD：3.5型HDD×1(空1)、搭載あり：構成依存(※2)
キーボード	フルサイズキーボード(109A日本語、OADG準拠、USB)
マウス	光学ホイールマウス(USB)
本体寸法(幅×奥行×高さ)	約92.5x297.7x339.5mm
本体質量	約5.3kg(最大構成時)
梱包箱寸法(幅×奥行×高さ)	約19.5x39.5x53cm
梱包箱重量	約7.6kg
電源	内蔵電源ユニット AC 100-240V(50/60Hz)(180W/効率85%)
使用環境	温度：5～35°C、湿度：20～80%(但し結露無き事)
保存環境	温度：-40～60°C、湿度：10～90%(但し結露無き事)
Microsoft Office※5	なし
主な付属品	キーボード、マウス、電源コード(1.8m)、接地(アース)端子付き電源プラグ、マニュアル類、購入証明書(梱包箱の外側に貼られています)、フロアスタンド、エアディフレクター
拡張保守	1年間 プレミアサポート(1年間 翌営業日オンサイト修理保証モデル向け)☑ 1年間 HD返却不要

保証 保証期間	1年
保証 国内での修理	オンサイト(翌営業日対応による機器設置先での修理)
保証 海外での修理	修理依頼国での修理方法(IWSハードウェア国際保証サービス)に準ずる
追加ライセンス	なし
ITC Service	プレミアムサポート アセット タグ



初期導入済OS	Windows 11 Pro 64bit（日本語版）
稼働確認OS	Windows 11 Home (64bit)、Windows 11 Pro (64bit)
プロセッサ	インテル® Core™ Ultra 5 プロセッサ 125Uと同等品以上
プロセッサ動作周波数	1.30GHz
プロセッサコア数	12以上
プロセッサ・キャッシュ	12 MB(メインプロセッサに内蔵)以上
統合メモリーコントローラー※1	LPDDR5/x 7467,DDR5 5600
チップ・セット	CPUに統合
vPro対応	非対応
セキュリティー・チップ(TPM)	TPMあり(TCG V2.0準拠, ハードウェアチップ搭載)
その他のセキュリティー機能	パワーオンパスワード、スーパーバイザーパスワード、システム管理パスワード、ハードディスクパスワード(NVMeパスワード)、ケーブルロックスロット(2.5x6mm)
指紋センサー	指紋センサーなし
主記憶(RAM)容量(標準/最大)	8GB以上(8GBx1)(PC5-44800 DDR5 SDRAM SODIMM) / 64GB
主記憶(RAM)スロット数(空スロット数)	2(空1)
補助記憶装置(内蔵) SSD	500GB以上 ソリッドステートドライブ (M.2 PCIe NVMe,Gen4, OPAL2.0)
補助記憶装置(内蔵) RAID構成	なし
補助記憶装置(内蔵) SSHD (Hybrid HDD)	なし
補助記憶装置(内蔵) 光学ドライブ	なし
補助記憶装置(内蔵) ウルトラベイ他	なし
ディスプレイ ディスプレイサイズ(ドット・発色)	LEDバックライト付 16.0型 WUXGA IPS液晶 (1920x1200ドット、約 1,677万色、16:10、300nit)、光沢なし、ブルーライト軽減
ビデオ・チップ	インテル® グラフィックス
ビデオRAM容量	メインメモリと共有
外部ディスプレイ出力 アナログ接続時(ドット・発色)	なし
外部ディスプレイ出力 デジタル接続時(ドット・発色)	最大 4096x2160ドット、1677万色(HDMI接続時)、60Hz/最大 7680x4320ドット、1677万色(Thunderbolt™4接続時)、60Hz
USBポート (Type-C)	USB4 (Thunderbolt4 対応) x 1、USB 3.2 Gen2x2 (Video-out 対応) x 1
USBポート (Type-A)	USB 3.2 Gen1 x 1、USB 3.2 Gen2 (Powered USB) x 1
ディスプレイ関連ポート (VGA)	なし
ディスプレイ関連ポート (HDMI)	HDMI x 1
オーディオ関連ポート	マイクロホン/ヘッドホン・コンボ・ジャック
イーサネット・コネクタ(RJ-45)	RJ-45 x1
OneLink	なし
OneLink+	なし
ドッキングコネクタ	なし
イーサネット拡張コネクタ	なし
イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
ワイヤレス	インテル® Wi-Fi 6E AX211 a/b/g/n/ac/axと同等品以上
WWAN	なし
Bluetooth※2	Bluetooth v5.3※
WiGig	非対応
NFC	なし
オーディオ機能	Dolby Atmosと同等品以上
スピーカー	ステレオスピーカー
マイクロホン	デジタルマイクロホン
内蔵カメラ	あり(前面:HD 720p カメラ、プライバシーシャッター付き)
Expressカードスロット	なし
メモリーカードスロット	なし
SIMカードスロット	なし
その他のカードスロット	なし
キーボード	日本語キーボード(数値キーパッド付)
本体カラー	ブラック
カラーセンサー	なし

センサー類	なし
ボタン類	なし
本体寸法 (W×D×H)mm	約 356.1x247.7x19.85mm
本体質量(バッテリー・パックを含む)	最軽量構成時 1.81kg~
梱包箱寸法(W×D×H)cm	約 48.8x8x33cm
梱包時重量	約 2.8kg
メインバッテリー	固定式 3セル リチウムイオンポリマーバッテリー 47Whr 以上
セカンドバッテリー	なし
使用時間(JEITA測定法 3.0)	U5 最大駆動時間:動画再生時 約10.8時間・アイドル時 約20.2時間(57Whバッテリー搭載時) U7 最大駆動時間:動画再生時 約8.7時間・アイドル時 約18.4時間(57Whバッテリー搭載時)
充電時間(パワーオフ時)	約 1.9時間 (パワーオフ) ACアダプターなしの場合 ご利用のACアダプターによります
ACアダプター 種類	65W ACアダプター(USB Type-C)(急速充電対応)
ACアダプター 定格電圧	ACアダプター搭載の場合 AC 100-240V(50/60Hz) ACアダプターなしの場合 ご利用のACアダプターによります
ACアダプター 質量	本体:約 237g コード:約 62g
最大消費電力(W)	65W
バッテリー・パック	なし
電源関係	ACアダプター、電源コード
マニュアル保証書関係	マニュアル類
リカバリーメディア関連情報	なし
Office類※3	なし
ペン	なし
その他	なし
拡張保守	1年間 プレミア サポート+翌営業日オンサイト☑ 1年間 HD返却不要
保証 保証期間	1年
保証 国内での修理	送付修理 メーカーへの送付・梱包料はお客様負担
保証 海外での修理	修理依頼国での修理方法 (IWSハードウェア国際保証サービス) に準ずる
追加ライセンス	なし
ITC Service	プレミアム サポート アセット タグ

製品仕様
仮想基盤上に展開できるバーチャルライセンスとして提供できること。
管理画面はWebブラウザかつ日本語で表示できる機能を有すること。
設定情報を外部のサーバなどに自動的にバックアップする機能を有すること。
システムログを管理画面で確認できる機能を有すること。また、外部Syslogサーバーへ送信できる機能を有すること。
コンソールもしくはSSHによる接続機能を有すること。
認証プロトコルとして、以下に対応していること。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PAP</li> <li>・ CHAP</li> <li>・ MSCHAPv1</li> <li>・ MSCHAPv2</li> <li>・ EAP-TLS</li> <li>・ PEAP(EAP-MSCHAPv2/EAP-TLS)</li> <li>・ EAP-TTLS(PAP/CHAP/MSCHAPv2/EAP-MSCHAPv2/EAP-TLS)</li> <li>・ EAP-MD5</li> <li>・ EAP-MSCHAPv2</li> </ul>
MAC認証の際、MACアドレスの区切り文字やパスワードに関わらず認証を成功する機能があること。
ライセンス数に関わらずRADIUSクライアントを最大10,000台登録できる機能を有すること。
RADIUSクライアントをグルーピングできる機能を有すること。
RADIUS属性応答に対応していること。また、任意のRADIUS属性を追加できること。
RADIUSクライアント、グループ毎に応答属性を変えられること。
複数の外部認証局と連携して認証できる機能（自己認証局機能）を有すること。
RADIUSプロキシサーバとして動作できる機能を有すること。。
国立情報学研究所(NII)が提供している、eduroam JPサービスに対応していること。
realmごとに転送先RADIUSサーバを指定できる機能を有すること。
RADIUSプロキシ機能において、自局の認証でアカウントが存在しなかった場合に指定したrealmを付与、realmに従った転送先RADIUSサーバーへ転送する機能を有すること。
RADIUS Accountingに対応していること。。また、Accounting要求パケットに含まれる属性を解析し、NASへの接続状況を一覧で確認できること。接続状況一覧より任意のログイン済みアカウントを手動でログアウトさせる機能を有すること。
外部のActiveDirectory、LDAPサーバにあるアカウント情報を参照し、認証情報として利用することができる機能を有すること。
外部のActiveDirectory、LDAPサーバにあるアカウント情報を参照し、LDAP属性に応じた属性応答に対応すること。
realmごとに参照先LDAPサーバを指定できる機能を有すること。
ShibbolethSPとして動作し、認証スイッチのWeb認証機能と連携できる機能を有すること。
認証ログを管理画面で確認できる機能を有すること。また、外部Syslogサーバーへ送信できる機能を有すること。
最大200,000アカウントを登録可能であること。
ユーザ、端末(MACアドレス)、証明書アカウントの管理がディレクトリ単位にできる機能を有すること。
アカウント情報を登録、編集、削除できる機能を有すること。
複数のアカウント情報を一括で登録/変更できる機能を有すること。複数のディレクトリに対し、アカウント情報を一括で登録/変更できる機能を有すること。
複数のアカウント情報を一括で削除できる機能を有すること。複数のディレクトリに対し、アカウント情報を一括で削除できる機能を有すること。

アカウントの作成／一覧／検索画面において、表示する管理項目や管理項目毎に必須／任意入力項目の指定、管理項目名を任意にカスタマイズできる機能を有すること。
管理者がユーザのパスワードポリシーを設定できる機能を有すること。
ディレクトリ単位で管理者を設定できる機能を有すること。 ディレクトリ管理者は、自身のディレクトリのみ管理者権限を持つこと。
ディレクトリ管理者に対して、管理ツールにログインした際に予め設定されたリンク集の画面を提供できること。
ディレクトリ単位で共通の属性(アトリビュート)を設定できる機能を有すること。
最終認証日から一定期間認証していないアカウントの認証要求を拒否する機能を有すること。
アカウントの無効化から一定期間認証していないアカウントや、有効期限が切れたアカウントを削除する機能を有すること。
最終更新日から指定日数経過したアカウントを削除する機能を有すること。
アカウント情報を外部のサーバと定期的にインポート、エクスポートできる機能を有すること。
アカウント情報を外部からLDAP参照、改廃できる機能を有すること。
アカウント情報をActiveDirectoryに登録する機能を有すること。
認証時に未登録の端末のMACアドレスを収集する機能を有すること。
サーバ／クライアント証明書の発行機能を有すること。
クライアント証明書の一括発行、失効、ダウンロードができる機能を有すること。
クライアント証明書認証時に、証明書のcnに含まれるMACアドレスと、使用する端末のMACアドレスが同一かをチェックし、認証成否を判断できる機能を有すること。
外部システムが作成したCSRを取り込み、サーバ証明書を発行できる機能を有すること。
外部認証局が発行したサーバ証明書を取り込み、https接続用として使用できること。また、CSRを作成できること。
外部認証局が発行したCA証明書・サーバ証明書を取り込み、IEEE802.1X認証用として使用できること。また、CSRを作成できること。
失効リストをダウンロードできる機能を有すること。
下位認証局（中間認証局）として動作すること。
NIIが発行した「UPKIクライアント証明書」を取り込む機能を有すること。また、取り込んだ証明書を配布する機能を有すること。
利用者によるユーザ、端末、証明書アカウントを登録、編集、削除申請するWebインタフェースを有すること。利用者が申請した内容を管理者に通知し、管理者が承認する機能を有すること。
登録するユーザID、パスワードは、任意入力及び自動生成ができる機能を有すること。
自動生成したユーザーID・パスワードをメールアドレス通知のほか、Web画面上で確認できる機能を有すること。
登録するMACアドレスを自動入力ができる機能を有すること。
登録するMACアドレスをDHCP端末情報として利用できる機能を有すること。
申請する証明書アカウントの証明書CNにユーザー名を使用する場合に、任意の文字列を付加する機能を有すること。
利用者による証明書のダウンロードができる機能を有すること。
ユーザーツールへのログインアカウントとして、外部LDAPアカウントを利用できる機能を有すること。申請項目に外部LDAPアカウントの属性情報を自動で引用できる機能を有すること。
外部LDAP/AD上のユーザーアカウントが持つ情報を、クライアント証明書情報として利用できる機能を有すること。
外部LDAP/AD上のユーザーアカウントで申請したユーザー／端末／証明書アカウントを、外部LDAP/AD上のユーザーアカウントの削除に連動して削除する機能を有すること。
ユーザーツールへのログインアカウントとして、Shibboleth IdPアカウントを利用できる機能を有すること。申請項目にShibboleth IdPアカウントの属性情報を自動で引用できる機能を有すること。

利用者が申請できるアカウント数を制限できること。
ユーザーならびにMACアドレスアカウントの有効期限切れメール通知ができる機能を有すること。
パスワード期限切れメール通知ができる機能を有すること。利用者がパスワードを変更できる機能を有すること。
クライアント証明書有効期限切れメール通知ができる機能を有すること。利用者が証明書の更新ができる機能を有すること。
申請、編集画面において、管理項目毎に必須/任意入力の指定ができ、管理項目名と属性名を任意にカスタマイズ表示できる機能を有すること。
利用者向けWebインターフェイスは、スマートデバイス専用の画面にも対応していること。
WindowsOS上で動作するRADIUS認証(PAP/CHAP/MS-CHAPv2/EAPPEAP/EAP-TLS)試験が可能なアプリケーションが提供されること。
冗長構成を組むことができること。また、複数の冗長構成をまとめて管理できる機能を有すること。
1台当たり(冗長構成の場合は2台)、50,000IPアドレスの払い出しが可能なこと。また、複数の構成をまとめて、50,000IPアドレス以上の払い出しが可能な機能を有すること。
1台当たり(冗長構成の場合は2台)、3,000スコープまでの設定が可能なこと。
複数のスコープを一括登録できる機能を有すること。
特定のMACアドレスに対して、固定のIPアドレスを払い出すことができる機能を有すること。
登録されたMACアドレス以外にIPアドレスを払い出さない機能を有すること。
MACアドレスとIPアドレス/スコープとの紐づき複数を一括で登録できること。
スーパースコープに対応していること。
リース範囲をセグメントごとに設定できる機能を有すること。
リース状況一覧を管理画面で確認できること。
払出IPアドレスの利用率を管理画面で確認できる機能を有すること。
払出IPアドレスが設定したしきい値に達した際、管理者へのメール通知ができる機能を有すること。

分類	仕様項目
全般	国内で開発・販売されている製品で、日本語によるサポート対応を実施している純国産製品であること
	外部からの攻撃メールを受信されたお客様へ、そのサイバーリスク情報を通知する無償のサービスを提供メーカーが直接、提供していること。
	動作環境として、Windows ServerとRed Hat Enterprise Linuxのいずれにも対応していること
	誤送信対策製品として「クライアント向け」「サーバー向け」「サービス」の製品・サービスを開発している国産メーカーであること
	アンチスパム機能として、世界規模でのリアルタイムなスパム監視によるデータベースを搭載していること
ネット ワーク関 連	メール通信プロトコルはSMTP、SMTPS、POP3、POP3Sの全てに対応しており、メール暗号化通信方式としてSTARTTLSにも対応していること
送信元偽 装判定	SPF認証の技術と独自のロジックをベースに送信元アドレスの偽装をLAN内環境に設置した場合でも判定可能なこと
	安全な差出人の「IPアドレス」と「ドメイン」をデータベースとして有し、データベースを利用して安全なメールのみを受信可能なホワイト運用を有すること。また、データベースに存在しない「IPアドレス」と「ドメイン」を収集し、精査した上でデータベースとして配信できること
添付ファ イル偽装 判定	添付ファイルがZIPパスワードロックされている場合でもファイルの危険因子の判定が可能なこと
	電子メールの送信元、メール本文、添付ファイル、またはメール内のリンク先それぞれの要素に対して評価基準を定め、レベル判定を行うことで偽装か否か精度よく判断することができる技術を利用していること
メール・ ファイル 無害化	Office文書、PDF等のマクロ除去機能を有すること
	メール本文の無害化処理(添付ファイル削除、URL含めたリンクの無効化、HTMLメールやリッチテキストメールの本文テキスト化、Office文書・PDF等のマクロ除去)を実施したメールを配送が可能なこと
メール フィルタ リング	プライベートドメイン (@gmail.comや@yahoo.co.jpなど) の個人利用のドメインをデータベース配信し、そのデータベースを利用して誤送信対策・アーカイブ検索が可能なこと
メール アーカイ ブ	メール疎通に影響を生じさせない終端型の構成が可能であること
	直前まで流通していたメールをリアルタイムに1つの管理画面で検索、また検索結果が確認可能なこと
	定期的な監査業務などに活用できる検索条件の保存が可能であること
	日時・宛先・差出人・本文・添付ファイルだけでなく、偽装メールの判定結果やプライベートドメインが含まれるかなどの検索条件が指定可能であること

【別紙2】

調達PC一覧表（設置）

No	組織名	フロア	端末種別	タイプ	OS	自動リカバリ対象 端末	Apex One	office	Cybozu Desktop	Acrobat Reader	Google Chrome等	備考 (用途)
1	盛岡運転免許センター	1	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	1 F 執務室、入居施設等との情報共有用
2	サーバ室	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	保守用
3	サーバ室	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	保守用
4	サーバ室	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	保守用
5	サーバ室	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	保守用
6	サーバ室	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	管理用
7	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 カウンター（運営）
8	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	2階 管理事務室（運営）
9	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	2階 管理事務室（運営）
10	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	2階 管理事務室（統括）
11	指定管理者	3	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	3階 総合案内（運営）
12	指定管理者	1	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	1階 防災
13	指定管理者	1	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	1階 清掃
14	指定管理者	1	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	1階 警備
15	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 管理事務室（運営）
16	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 管理事務室（統括）
17	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 管理事務室（統括）
18	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	2階 管理事務室（運営）
19	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 管理事務室（運営）
20	指定管理者	4	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	4階 いわてヒューマンギャラリー
21	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
22	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
23	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
24	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
25	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
26	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
27	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
28	指定管理者	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	-	○	○	2階管理事務室 有料貸出備品（利用者貸出用）
29	岩手県立図書館（岩手県）	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 図書館事務室 職員利用
30	岩手県パスポートセンター	2	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	○	○	-	○	○	○	2階 岩手県パスポートセンター 来館者貸出用
31	岩手県パスポートセンター	2	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	2階 岩手県パスポートセンター 執務室内用
32	視聴覚障害者情報センター	4	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	4階 サービスヤード 職員用
33	視聴覚障害者情報センター	4	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	4階 サービスヤード 職員用
34	視聴覚障害者情報センター	4	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	4階 ビデオ貸出利用室 職員用
35	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
36	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
37	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
38	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
39	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
40	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
41	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
42	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用

No	組織名	フロア	端末種別	タイプ	OS	自動リカバリ対象 端末	Apex One	office	Cybozu Desktop	Acrobat Reader	Google Chrome等	備考 (用途)
43	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 管理・執務・運営用
44	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 環境学習用(管理用)
45	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 環境学習用
46	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 環境学習用
47	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 環境学習用
48	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階 環境学習交流センター 環境学習用
49	国際交流センター	5	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階国際交流センター窓口 管理用
50	国際交流センター	5	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	5階国際交流センター内施設利用者への貸出用
51	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
52	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
53	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
54	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
55	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
56	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
57	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
58	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
59	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 職員業務用
60	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 登録団体共用
61	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	-	○	○	6階 NPO活動交流センター 登録団体貸出用
62	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	-	○	○	6階 NPO活動交流センター 登録団体貸出用
63	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	○	○	○	-	○	○	6階 NPO活動交流センター 登録団体貸出用
64	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 NPO活動交流センター 動作確認・管理用
65	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	6階子育てサポートセンターカウンター
66	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階子育てサポートセンター事務所
67	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階子育てサポートセンター事務所
68	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	○	○	○	○	○	○	6階子育てサポートセンターカウンター
69	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター職員用
70	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター職員用
71	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター職員用
72	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター職員用
73	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター職員用
74	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター職員用
75	青少年活動交流センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 青少年活動交流センター来館者 貸出用
76	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
77	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
78	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
79	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
80	男女共同参画センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
81	男女共同参画センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
82	男女共同参画センター	6	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 男女共同参画センター 職員用
83	県立大学アイーナキャンパス	7	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	7階アイーナキャンパス事務室用
84	高齢者活動サポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 高齢者活動サポートセンター 職員 事務用
85	高齢者活動サポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 高齢者活動サポートセンター 職員 事務用



No	組織名	フロア	端末種別	タイプ	OS	自動リカバリ対象 端末	Apex One	office	Cybozu Desktop	Acrobat Reader	Google Chrome等	備考 (用途)
86	高齢者活動サポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	6階 高齢者活動サポートセンター 職員 事務用
87	予備機	-	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	
88	予備機	-	調達端末	デスクトップ	Win11Pro	-	○	-	○	○	○	
89	予備機	-	調達端末	ノート	Win11Pro	-	○	○	○	○	○	

補足事項

既設調達PC一覧表（撤去）

No	組織名	フロア	端末種別	タイプ	コンピュータ名	シリアルNo	機種情報	保守対象	備考
1	盛岡運転免許センター	1	調達端末	ノート	N20001	C1BND63	Dell Latitude 3510	○	
2	サーバ室	2	調達端末	ノート	N20002	F0BND63	Dell Latitude 3510	○	
3	サーバ室	2	調達端末	ノート	N20003	42BND63	Dell Latitude 3510	○	
4	サーバ室	2	調達端末	デスクトップ	D20001	BX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
5	サーバ室	2	調達端末	デスクトップ	D20040	2T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
6	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	D20002	CX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	2階カウンター
7	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20004	31BND63	Dell Latitude 3510	○	2階管理事務室運営
8	指定管理者	3	調達端末	デスクトップ	D20003	DX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	3階総合受付
9	指定管理者	3	調達端末	デスクトップ	D20004	FX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	3階総合受付
10	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	D20005	GX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	2階管理事務室運営統括
11	指定管理者	1	調達端末	デスクトップ	D20006	HX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	1階防災
12	指定管理者	1	調達端末	デスクトップ	D20007	JX3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	1階清掃
13	指定管理者	1	調達端末	デスクトップ	D20008	1Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	1階警備
14	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20005	B2BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
15	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20006	J1BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
16	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20007	C2BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
17	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20008	C0BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
18	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20009	62BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
19	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20010	32BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
20	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20011	F2BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
21	指定管理者	2	調達端末	ノート	N20012	52BND63	Dell Latitude 3510	○	無線貸出用
22	岩手県立図書館（岩手県）	2	調達端末	ノート	N20013	92BND63	Dell Latitude 3510	○	
23	岩手県パスポートセンター	2	調達端末	デスクトップ	D20047	9T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
24	岩手県パスポートセンター	2	調達端末	ノート	N20014	61BND63	Dell Latitude 3510	○	
25	指定管理者	4	調達端末	デスクトップ	D20041	3T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
26	指定管理者	4	調達端末	デスクトップ	D20042	4T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
27	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	D20043	5T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
28	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	D20044	6T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
29	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	D20045	7T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
30	指定管理者	2	調達端末	デスクトップ	D20046	8T3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
31	視聴覚障害者情報センター	2	調達端末	デスクトップ	D20009	2Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
32	視聴覚障害者情報センター	4	調達端末	デスクトップ	D20010	3Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	サービスヤード
33	視聴覚障害者情報センター	4	調達端末	デスクトップ	D20011	4Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	サービスヤード
34	視聴覚障害者情報センター	4	調達端末	デスクトップ	D20012	5Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
35	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20013	6Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
36	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20014	7Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
37	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20015	8Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
38	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20016	9Y3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
39	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20017	BY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
40	環境学習交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20018	CY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
41	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	N20015	51BND63	Dell Latitude 3510	○	
42	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	N20016	71BND63	Dell Latitude 3510	○	
43	環境学習交流センター	5	調達端末	ノート	N20017	91BND63	Dell Latitude 3510	○	
44	国際交流センター	5	調達端末	デスクトップ	D20019	DY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
45	国際交流センター	5	調達端末	ノート	N20018	F1BND63	Dell Latitude 3510	○	
46	国際交流センター	5	調達端末	ノート	N20019	G1BND63	Dell Latitude 3510	○	

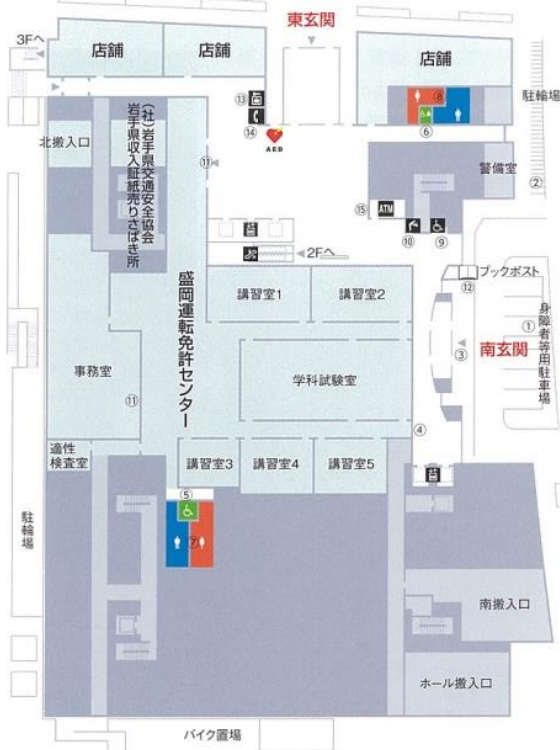
既設調達PC一覧表（撤去）

No	組織名	フロア	端末種別	タイプ	コンピュータ名	シリアルNo	機種情報	保守対象	備考
47	国際交流センター	5	調達端末	ノート	N20020	D1BND63	Dell Latitude 3510	○	
48	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20020	FY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
49	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20021	H0BND63	Dell Latitude 3510	○	
50	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20021	GY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
51	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20022	HY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
52	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20023	JY3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
53	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20024	1Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
54	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20022	22BND63	Dell Latitude 3510	○	
55	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20023	H1BND63	Dell Latitude 3510	○	
56	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20024	81BND63	Dell Latitude 3510	○	
57	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20048	BT3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
58	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20049	CT3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
59	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20050	DT3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
60	NPO活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20051	FT3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
61	NPO活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20032	12BND63	Dell Latitude 3510	○	
62	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	D20025	2Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
63	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	D20026	3Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
64	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	D20027	4Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
65	子育てサポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	D20052	GT3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
66	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20028	5Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
67	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20029	6Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
68	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20030	7Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
69	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20031	8Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
70	青少年活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20025	21BND63	Dell Latitude 3510	○	
71	青少年活動交流センター	6	調達端末	デスクトップ	D20032	9Z3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
72	青少年活動交流センター	6	調達端末	ノート	N20026	41BND63	Dell Latitude 3510	○	
73	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	D20033	BZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
74	男女共同参画センター	6	調達端末	ノート	N20027	D0BND63	Dell Latitude 3510	○	
75	男女共同参画センター	6	調達端末	ノート	N20028	G0BND63	Dell Latitude 3510	○	
76	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	D20034	CZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
77	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	D20035	DZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
78	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	D20036	FZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
79	男女共同参画センター	6	調達端末	ノート	N20029	11BND63	Dell Latitude 3510	○	
80	男女共同参画センター	6	調達端末	デスクトップ	D20037	GZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	NASとして暫定利用
81	県立大学アイーナキャンパス	7	調達端末	ノート	N20030	D2BND63	Dell Latitude 3510	○	
82	高齢者活動サポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	D20038	HZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
83	高齢者活動サポートセンター	6	調達端末	デスクトップ	D20039	JZ3JB93	Dell OptiPlex 3070	○	
84	高齢者活動サポートセンター	6	調達端末	ノート	N20031	82BND63	Dell Latitude 3510	○	
85	予備機	-	調達端末	ノート	N20033	B1BND63	Dell Latitude 3510	○	
86	予備機	-	調達端末	ノート	N20034	J0BND63	Dell Latitude 3510	○	
87	予備機	-	調達端末	ノート	N20035	72BND63	Dell Latitude 3510	○	
88	サーバ室	2	調達端末	ノート			Dell Latitude 3510	○	管理用PC
89	指定管理者	2	調達端末	ノート			Dell Latitude 3510	○	映像配信用PC
90	指定管理者	1	調達端末	ノート			Dell Latitude 3510	○	1階防災 映像配信用PC

補足事項

保守対象は2021年のシステム更新で購入したPCが対象です。

# 1F



## フロア案内

- 盛岡運転免許センター
  - 事務所
  - 学科試験室
  - 講習室【1～5】
  - 適性検査室
- 社団法人 岩手県交通安全協会
  - 岩手県収入証紙売りさばき所
- 店舗

## 主要設備

- ① 身障者専用駐車場
- ② 電動車いす置場
- ③ 誘導鈴・点字ブロック
- ④ 触知図・インターフォン
- ⑤ 多機能トイレ(標準型)
- ⑥ 多機能トイレ(オストメイト対応)
- ⑦ 一般トイレ
- ⑧ 一般トイレ(一部和式)
- ⑨ 車椅子・ベビーカー置場
- ⑩ 水飲み場
- ⑪ 磁気ループ
- ⑫ ブックポスト
- ⑬ ロッカー
- ⑭ 公衆電話
- ⑮ ATM

# 2F



## フロア案内

- 岩手県パスポートセンター
- 自動車安全運転センター岩手県事務所
- 一般財団法人岩手県建築住宅センター
- 管理事務所
- 岩手県立視聴覚障がい者情報センター
  - 事務所
- 岩手県立図書館
  - 事務所
  - ボランティアルーム

## 主要設備

- ① 触知図・インターフォン
- ② 多機能トイレ(標準型)
- ③ 多機能トイレ(札幌式)
- ④ 一般トイレ
- ⑤ 水飲み場
- ⑥ 磁気ループ
- ⑦ 写真撮影機

【凡例】  
無線LAN接続サービス  
提供範囲



# 3F



## フロア案内

- 総合案内
- 岩手県立図書館
  - 一般図書コーナー
  - 郷土資料コーナー
  - 調査研究室
  - 児童コーナー
  - 児童図書研究室
  - お話し室
- 屋外広場
- 住宅情報コーナー

## 主要設備

- ①誘導鈴・点字ブロック
- ②触知図・インターフォン
- ③多機能トイレ(標準型)
- ④一般トイレ
- ⑤水飲み場
- ⑥授乳室
- ⑦磁気ループ
- ⑧ブックポスト
- ⑨ロッカー
- ⑩公衆電話
- ⑪自動販売機
- ⑫車椅子・ベビーカー置場

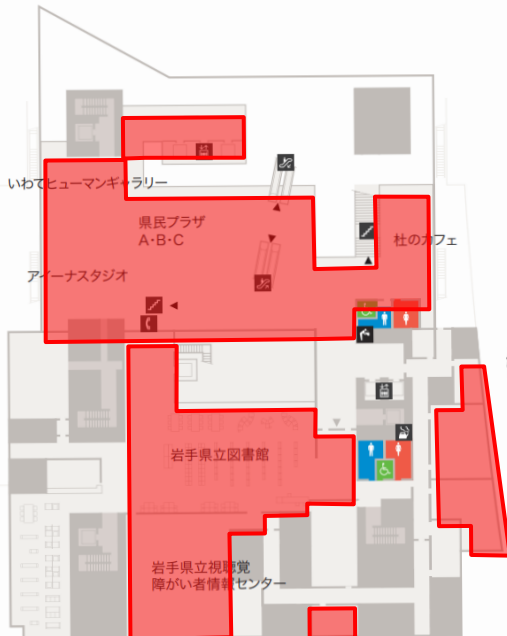
8F

7F

6F

5F

# 4F



## フロア案内

- 岩手県立図書館
  - 新聞・雑誌コーナー
  - 音と映像コーナー
  - ミニシアター
  - 企画展示コーナー
- 岩手県立視覚障害者情報センター
  - 点字・録音図書閲覧室
  - 録音校正室
  - 録音室
  - 点訳・パソコン研修室
  - デジタル録音図書編集室
  - ボランティアルーム(1・2)
  - 映写室
  - ビデオ制作室
  - ビデオ貸出利用室・機器利用室
  - 研修室
  - 相談室
  - 印刷室
  - 団体活動室
  - 貸出発送作業室
- 県民プラザ(A・B・C)
  - アイーナスタジオ
  - 情報スクエア(いわてヒューマンギャラリー)

## 主要設備

- ①触知図・インターフォン
- ②多機能トイレ(標準型)
- ③一般トイレ
- ④水飲み場
- ⑤磁気ループ
- ⑥赤外線補聴システム

4F

3F

2F

1F

# 5F

8F

7F

6F

5F



## フロア案内

### 【県民活動交流センター】

- 国際交流センター
  - 事務室
  - 相談室
  - 日本語教材室
  - ワーキングルーム
  - 県民交流ラウンジ
- ミーティングルーム
- 会議室501(A・B)
- 環境学習交流センター
- ギャラリーアイーナ
  - 展示室1
  - 展示室2
  - 展示室3

## 主要設備

- ①触知図・インターフォン
- ②多機能トイレ(札幌式)
- ③一般トイレ
- ④水飲み場

## フロア案内

### 【県民活動交流センター】

- 事務室
- NPO活動交流センター
- 青少年活動交流センター
- 男女共同参画センター
- 高齢者活動交流プラザ  
(高齢者社会貢献活動サポートセンター)
- 子育てサポートセンター

- 団体活動室【1~4】
- 作業ルーム
- 子育てサポートルーム
- ラウンジ
- 調理実習室
- 世代間交流室
- 練習スタジオ(機材あり)
- 練習スタジオ(機材なし)
- 会議室【601~605】
- 和室【606~608】

## 主要設備

- ①触知図・インターフォン
- ②多機能トイレ(標準型)
- ③一般トイレ
- ④親子トイレ
- ⑤水飲み場
- ⑥授乳・乳幼児コーナー
- ⑦プレイルーム
- ⑧更衣室
- ⑨磁気ループ
- ⑩ロッカー
- ⑪自動販売機

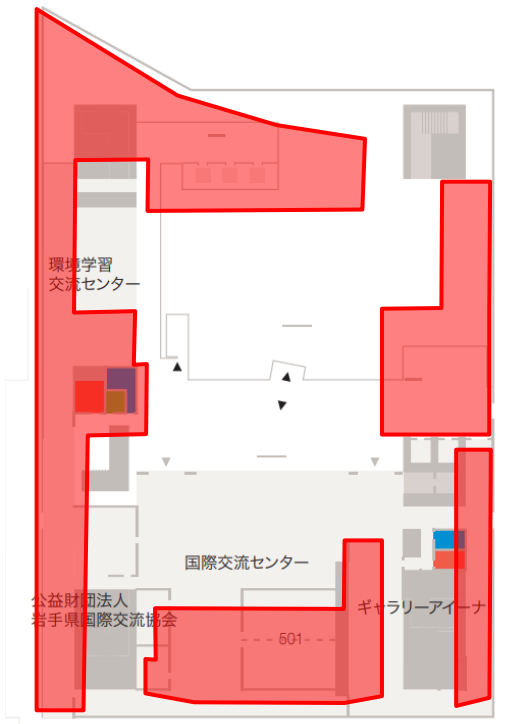
# 6F

4F

3F

2F

1F



# 7F



## フロア案内

### ■岩手県立大学アイーナキャンパス

- 事務室
- 心理相談室
- セミナー室【1〜3】
- 学習室【1〜5】
- 自習室
- パソコン演習室
- ラウンジ

### ■小田島組☆ほ〜る

- 多目的ホール
- リハーサル室
- ミーティングルーム【707・708】
- 控室【709〜713】
- シャワー室

### ■会議室701

### ■会議室702

### ■会議室703

## 主要設備

- ①触知図・インターフォン
- ②多機能トイレ(標準型)
- ③一般トイレ
- ④一般トイレ(一部和式)
- ⑤水飲み場
- ⑥赤外線補聴システム
- ⑦ロッカー
- ⑧自動販売機

8F

7F

6F

5F

# 8F



## フロア案内

### ■会議室801(特別会議室)

### ■会議室802

### ■会議室803

### ■会議室804(A・B)

### ■会議室805

### ■会議室806

### ■会議室807

### ■会議室808

### ■会議室809(和室)

### ■研修室810

### ■研修室811

### ■研修室812

### ■研修室813

### ■研修室814

### ■研修室815

### ■研修室816

### ■研修室817

### ■県民プラザ(D)

## 主要設備

- ①触知図・インターフォン
- ②多機能トイレ(標準型)
- ③多機能トイレ(札幌式)
- ④一般トイレ
- ⑤水飲み場
- ⑥赤外線補聴システム
- ⑦自動販売機

4F

3F

2F

1F

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

1. 基本要件		
基本要件	1-1	CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーションなどをインストールすることなく、ウェブブラウザから利用できること。
	1-2	各職員のクライアント端末から、ブラウザを通して、ID、パスワード認証にてログインできること。
	1-3	各職員のクライアント端末のブラウザは、Microsoft Edge、Firefox、Google Chromeのいずれでも利用が可能であり、職員が作成・更新・管理業務が行えること。
	1-4	端末台数やユーザー数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。
	1-5	ユーザー全員に個別のID、パスワード(原則として8ケタ以上)を付与できること。
	1-6	データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで管理すること。
	1-7	生成されるコンテンツデータ(ページ)については、HTML Living Standard以上の規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。また、アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。
	1-8	UTF-8の文字コードに対応すること。
	1-9	1つのページ内で複数の言語の記述が可能であること。
	1-10	公開サーバに表示されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、イベントカレンダーなどで動的に表示させることが望ましいページがある場合は、その限りではない。
	1-11	閲覧者が画面をA4縦型で印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれずに印刷できること。
サイト設計	1-12	閲覧者にとっての使いやすさを最優先し、カテゴリを見ただけでコンテンツの内容が想像できるカテゴリ分類となるよう設計できること。
	1-13	主要な情報、または複数のカテゴリに関するコンテンツページについては、トップページやメニューページ、記事ページなどから複数の導線でアクセスできるように設計できること。
	1-14	パソコン版及び、スマートフォン版のサイト設計を行うこと。なお、スマートフォン版サイトは、閲覧者の利用場面を想定し、操作性、視認性が確保できる設計を行い、原則としてレスポンシブウェブデザインとすることが望ましい。

2. ページ作成機能		
基本的な仕様	2-1	作成者がHTML言語を意識することなくワープロ感覚で記事を作成でき、掲載される画面をイメージできる作成画面であること。
	2-2	テンプレートを使用することで、専門知識を持たない一般的な職員でも編集ができ、見出しや段落、表などがタグの知識を持たなくても容易に記事ページに反映できること。
	2-3	Microsoft Wordと同様のツールバー機能があり、テンプレートを選択することで、統一したデザインの記事ページ作成が可能なこと。
	2-4	フォーム入力型のテンプレートも利用できること。



【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	2-5	公開側のページ(ヘッダ、フッタ含める)のイメージのまま直接編集ができる機能を有すること。
	2-6	見出し、本文、画像、添付ファイルなど、構成要素をパーツとして追加し、ページの作成が行えるパーツ登録の機能を有すること。
	2-7	ワープロソフトのようなWYSIWYGインターフェースとフォーム入力型インターフェースが、同一のテンプレート内で利用できること。
	2-8	作成した記事ページの定位置に、ログインしたユーザーの担当課情報(課室名・電話番号・メールアドレスなど)が自動的に記載されること。また、あらかじめ登録してある複数の問い合わせ先が表示でき、任意に選択できること。
	2-9	記事ページ作成完了時、必須項目に未入力があった場合、警告を表示しスムーズに修正できること。
	2-10	ページタイトルの先頭、また末尾に、“〇〇市”などの共通の文字列が自動的に挿入されること。
	2-11	記事ページのレイアウト、および記事内容はコピーして再利用ができること。
	2-12	同じ記事ページを更新して再度公開を行う際に、以前公開していた記事ページを前バージョンとして管理できること。バージョンの上限数は特に指定のない限りないものとし、また以前のバージョンを再利用することも可能であること。
	2-13	ファイルの保存時には、自動的に連番のファイル名が入ること。また、必要に応じて任意のファイル名が指定できること。
	2-14	画像、添付ファイルのファイル名が、日本語名などのサーバ上で使用できないものである場合には警告を表示し、スムーズに修正できること。
	2-15	作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻すことができること。
	2-16	作成途中の記事ページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。
	2-17	検索サイトで上位に記事ページを表示させる機能(SEO)対策として、検索用キーワードを容易に設定できること。
	2-18	記事ページ作成画面内に文字列の検索・置換機能があり、容易に文字列の検索・置換ができること。
	2-19	権限を与えられた作成者は、HTMLのソースコードを直接編集できること。
	2-20	記事ページ編集画面から入力データの失われる可能性がある画面へ遷移する際に、そのままとどまるか遷移するかの確認メッセージを表示・非表示の選択ができること。
	2-21	閲覧者が特定の記事のみをダイレクトに検索できるよう、記事ページごとに固定のIDが自動で付与される機能を有することが望ましい。
	2-22	記事ページごとに固定のQRコードが自動で作成できる機能を有することが望ましい。
他データの流用・ 表の編集	2-23	Wordデータを取り込み、自動的にHTMLデータに変換できること。その際、Word上で設定された見出しスタイルやリスト情報、揃え位置などをHTMLスタイル上に反映できること。
	2-24	Word、Excelデータをコピー&ペーストできること。その際、アプリケーション特有のHTML(CSS)表現を自動的に削除できること。
	2-25	Word、Excelデータから取り込んだ(もしくはコピー&ペーストした)表は、再編集できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定などが、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	2-26	表を新規で作成できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定などが、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。
	2-27	表の見出しを設定した際に、ソースコードを直接編集することなく、見出しの指定範囲を設定漏れしないように防ぐ機能を有すること。
画像	2-28	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。
	2-29	CMSサーバ上に全作成者が共通で使用可能な画像の素材集を設置でき、一覧表示の中から選択して使用できること。また、その素材集は、サイト管理者によって追加、削除が可能なこと。
	2-30	画像に説明やリンクをつけられること。
	2-31	画像の代替テキスト(alt属性)の未入力を防ぐために警告が表示されること。
	2-32	登録できる画像のファイル種別(JPEG、GIF、PNGなど)を制限できること。
	2-33	公開する画像のファイル容量、または画像サイズを制限できること。
	2-34	制限容量を超えた画像は自動でリサイズ、または警告を表示できること。
	2-35	クライアント端末にソフトをインストールすることなく、画像のリサイズ、トリミングなどができる画像の編集機能を有することが望ましい。
	2-36	画像にコピーライトの表示ができることが望ましい。
	2-37	簡単な操作で画像上の指定された位置に、文字の挿入が行えること。挿入できる文字列は、文字の変更、文字サイズの変更、文字色の変更、文字列に影付きなどの見やすくするための装飾が行えることが望ましい。
	2-38	複数画像のインライン挿入(特定の座標位置ではなく、文字と文字の間に挿入)ができること。また、表示位置、表示サイズの指定が可能であること。
添付ファイル	2-39	記事ページにWord、Excel、PDFなどの各種文書ファイルをリンクできること。
	2-40	リンクした文書ファイルの種類(Word、Excel、PDFなど)、サイズが自動で表示されること。
	2-41	PDFをリンクした場合、Adobe Readerのダウンロードを促す案内が、自動で表示されること。
	2-42	ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。
	2-43	記事ページからリンクする文書ファイルなどの種類、容量を統一して制限できること。
リンク	2-44	内部リンク・外部リンクを容易に設定できること。
	2-45	ページの一覧が表示される画面では各ページのURLがわかりやすく表示されていること。
	2-46	内部リンクは、一覧などからリンク先を選択するだけで容易に設定できること。
	2-47	外部リンクを設定した場合、サイト管理者が定めた任意のルールに基づき、リンク文字列の後ろに「外部リンク」などの文言を自動挿入できること。
	2-48	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。
	2-49	公開前(未承認)の記事ページに対してリンク設定ができること。(新規に作成した記事記事ページのアドレスが公開前に確認できること。)

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	2-50	ファイルの格納場所や、ファイル名が変更された場合など、リンクに関わる変更があった場合には、自動的に該当するリンクが修正されること。
	2-51	記事ページ公開開始時に、パンくずリスト、指定したカテゴリインデックス、ローカルナビゲーション、およびサイトマップにページタイトルをリンク名としたリンクが自動生成され、公開終了時にそれらが自動削除できること。
	2-52	内部リンク・外部リンクのリンク切れを一括でチェックでき、一覧として作成者・承認者・サイト管理者が確認できること。
	2-53	内部リンク・外部リンクのリンク切れをページ単位でチェックでき、ページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚化して確認できること。
	2-54	リンク切れが発生した際にはメールで通知する機能を有すること。
	2-55	ページを削除する際に他のページからリンクが設定されていないかチェックを行い、リンクが貼られていた場合は警告表示と該当ページ一覧を表示できることが望ましい。
アクセシビリティ、およびチェック機能	2-56	ページ単位でアクセシビリティ上の問題を総合的にチェックできること。また、問題箇所をイメージ画像にて明示し、なぜ問題があるのか、どう修正したら良いのかを表示できること。
	2-57	記事ページ作成時にアクセシビリティなどに関する項目のチェックを自動で行い、問題がある箇所は警告を表示し、自動変換できること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像の代替テキストの有無</li> <li>・日付、時間などの表記</li> <li>・全角英数字、半角カナ文字使用の有無</li> <li>・機種依存文字、禁止文字使用</li> <li>・不要な全角スペース、半角スペースの使用</li> <li>・ページタイトルの有無</li> <li>・ファイル名の有無</li> </ul>
	2-58	記事ページタイトル、およびファイル名は重複チェックが可能で、必要に応じて重複を許可することができることが望ましい。
	2-59	使用が好ましくない単語が含まれている場合、サイト管理者が指定する単語に自動変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」)。変換対象とする単語は、サイト管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。
	2-60	使用が好ましくない単語の自動変換機能については、記事ページ内容によってはあえて表記する場合も想定できるため、ページ作成者が変換候補とは異なる文字も使用できること。
	2-61	画像の代替テキストとしての使用が好ましくない単語(例:「写真」、「画像」)が設定されていた場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、サイト管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないことが望ましい。
	2-62	リンクのタイトルテキストとしての使用が好ましくない単語(例:「こちら」、「こちらをクリック」)が設定されている場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、サイト管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないことが望ましい。
	2-63	表(テーブル)の構造化チェック、キャプションに指定された文字列のチェックを行えること。
	2-64	見出しの構造化チェックが行えること(例:見出し1の有無、見出し1、見出し2などの階層構造)。
	2-65	すべてのページに文字拡大機能を有すること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	2-66	すべてのページに文字色・背景色変更機能を有すること。
	2-67	複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成された記事ページのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。
	2-68	アクセシビリティチェック時に、記事ページ内の本文や代替テキスト表内の文字など、読み上げ順を確認できることが望ましい。
	2-69	文字色と背景色の組み合わせが、色覚に障がいのある人に適切かどうかを確認できることが望ましい。
	2-70	記事ページ一覧画面においてアクセシビリティに違反する記事ページがひと目で分かるよう表示できること。
地図	2-71	Googleマップなどを用いて、地図情報を提供できること。また、住所や施設名などを入力することで簡単に掲載する地図の場所を指定できること。
	2-72	同一の地図内に、複数の施設が表示できること。また、ジャンル別や地区別に表示が可能なことが望ましい。
動画	2-73	CMSで作成する記事ページ内に、YouTubeなどの動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。
	2-74	さまざまなサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。ただし、サイズの制限設定があること。
外部取り込み	2-75	外部で作成されたHTMLファイルや画像ファイルなどを、リンク関係を保持したまま一括でCMSへ取り込めること。
	2-76	取り込んだファイルは、CMS内で作成するHTMLファイルと同様の操作で再編集できること。
記事ページの公開・削除・再利用	2-77	各課室の作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時に記事ページの自動更新ができること。
	2-78	公開期限は、年月日のほかに15分単位で時間指定できること。
	2-79	公開時間を指定しない記事ページの場合は、即時公開の設定が容易にできること。
	2-80	公開期限を無期限とする設定が容易にできること。
	2-81	すでに公開されている記事ページを未来の日付で更新する場合は、現在の記事ページを直接編集し日時設定することで、予定の日時に記事ページが自動更新されること。
	2-82	記事ページに公開日、または最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。
	2-83	記事ページの公開・更新を行った際、記事ページが所属するカテゴリ、および所属トップ記事ページの内容も自動で更新(タイトルの後ろなどに更新日を自動挿入)されること。
	2-84	記事ページを公開サーバから削除する際、記事ページが所属するカテゴリ、および所属トップ記事ページに表示された文章とリンクが自動削除されること。
	2-85	記事ページを公開サーバから削除する際、HTMLファイルだけでなく、付属する画像ファイルやPDFファイルなども同時に公開サーバから自動削除できること。
	2-86	記事ページを公開サーバから削除する際、対象の画像やPDFなどのファイルが、削除対象ではない記事ページからリンクされた状態にある場合、サーバ上に残せること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	2-87	公開が終了した記事ページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。
	2-88	CMSサーバに保存されている記事ページを一覧から選択・複写し、新規記事ページを作成できること。
	2-89	公開が終了した記事ページの一覧を表示でき、一括、または選択してCMSサーバから削除できること。
プレビュー	2-90	記事ページの公開イメージを、作成・承認の各段階で容易にプレビューできること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面などに戻れること。
	2-91	当該記事ページからリンクをたどる形で、内部リンク先の記事ページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。
	2-92	記事ページ単位で、色に頼った情報提供になっていないかを、イメージ画像などにて、視覚的に把握できる機能を有すること。
	2-93	記事ページ単位で、画像に頼った情報提供になっていないかを、イメージ画像などにて、視覚的に把握できる機能を有すること。
	2-94	任意の未来日を指定して、その時点での記事ページおよびサイト全体をプレビューできること。
	2-95	任意の過去日を指定して、その時点での記事ページおよびサイト全体をプレビューできることが望ましい。
	2-96	スマートフォン版ページなど、他のメディアへの表示もプレビューできること。

3. 自動更新、自動生成機能

新着リンク	3-1	記事ページ作成時に、指定する新着情報エリア(トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページ、サブサイトトップページなど)へ掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。
	3-2	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示され、表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。
	3-3	指定する新着情報エリア(トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページなど)に表示できる件数、表示順を、サイト管理者が任意に設定できる機能を有していることが望ましい
	3-4	指定する新着情報エリア(トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページなど)に、「NEW」「新着」などのアイコン表示、および表示期間を設定できる機能を有していることが望ましい
	3-5	トップページの新着情報エリアに「本日の更新件数」を表示するエリアを設ける機能を有していることが望ましい
	3-6	新着情報に表示するタイトルを、記事ページのタイトルとは異なる設定できること。
	3-7	トップページの新着情報に表示する記事ページはサイト管理者の承認が必要となるよう、通常とは異なる承認ルートを設定できる機能を有していることが望ましい
ナビゲーション	3-8	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。
	3-9	各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。
	3-10	パンくずリストは、カテゴリ別・所属別などの複数の設定に対応できること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	3-11	パンくずリストは、閲覧者がサイト内を閲覧したページ順に表示ができ、表示件数は設定できる機能を有していることが望ましい
	3-12	各ページにグローバルナビゲーション・ローカルナビゲーションを自動生成できること。
	3-13	サイトマップを自動生成でき、再編集できること。
	3-14	Googleにクロールさせるためのサイトマップ用XMLファイルを自動で作成・更新できる機能を有することが望ましい。
	3-15	対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動更新され、公開終了時にはそれらを自動的に削除すること。
RSS	3-16	サイト全体あるいはカテゴリごとの新着情報を、RSSフォーマットで出力できること。
	3-17	市が指定するページに、外部サイトからRSSで配信される情報を表示できること。
	3-18	記事ページやサブサイトのページに、各所属担当者の作業にて外部サイトからRSSで配信される情報を表示できること。表示は容易な操作で行え、表示件数の設定ができる機能を有していることが望ましい
イベントカレンダー	3-19	各イベント情報の記事ページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、各所属が入力したイベント情報を月ごとに集約表示できること。
	3-20	記事ページ作成時に、イベントカレンダーへの掲載の有無を容易に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。
	3-21	定期的なイベント開催などの場合、一度の記事ページ作成で複数表示でき、表示は、日、週、月、年などで設定できる機能を有していることが望ましい
	3-22	カレンダーに掲載されている内容を、閲覧者がカテゴリ、開催日順、イベント名順、の並び替えに対応していることが望ましい。
	3-23	カレンダーに掲載されている内容を、キーワード、カテゴリ、対象者、開催地域、事前申し込みの有無、費用、曜日、日付で検索できる機能を有していることが望ましい
	3-24	イベント開催情報を、Googleカレンダー、およびYahoo!カレンダーに任意に自動投稿できる機能を有していることが望ましい
レコメンド	3-25	「このページを見た人はこんなページも見ています」といった、おすすめページを自動的に表示できる機能を有していることが望ましい
	3-26	上記とは別に、記事ページにサイト管理者がおすすめる記事ページをサムネイル表示する機能を有することが望ましい。

4. マルチデバイス対応

スマートフォン用サイト	4-1	パソコンページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成できること。
	4-2	スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。
	4-3	スマートフォンの利用シーンを想定した、専用のトップページを作成すること。

5. サイト管理者の管理機能

--	--	--

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

基本機能	5-1	複数ユーザーが同時にログインできること。
	5-2	各担当者や所属部署により、コンテンツのグループごとに編集権限を設けることができること。
	5-3	ログインするユーザーIDにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。
	5-4	ログイン後の画面に、CMS利用上の注意などを促すメッセージを掲載できること。
	5-5	CMS編集画面上に操作マニュアルを表示できること。
	5-6	作成者は、作成した記事ページを所属部署ごとに集約して表示できること。
	5-7	同一ページを同時に別々のユーザーが更新できないこと。あるいは、更新しようとする際に警告が表示されること。
サイト管理者の権限	5-8	サイト管理者は、サイト内のすべてのページを編集する権限があること。
	5-9	サイト管理者は、すべてのページを承認ルートによらないで即時公開できる権限があること。また、指定したユーザーに即時公開(災害発生時の公開など)の権限を与えられること。
	5-10	サイト管理者は、CMSに登録されている全ページの情報(ページタイトル、階層構造、ディレクトリ)をCSVなどに出力できること。
	5-11	サイト管理者は、カテゴリの追加・変更・削除、記事ページの振り分けができること。
	5-12	サイト管理者は、すべての記事ページの状態(作成中・承認待ち・公開中・非公開など)を一覧で確認でき、CSVなどに出力できること。
	5-13	ヘッダー・フッターなどのサイトの共通部分は、サイト管理者のみが変更できること。
	5-14	サイト管理者は、入力禁止文字の登録・変更・削除ができること。
	5-15	サイト管理者は、入力禁止文字が使用されているページを検索できること。また、検索後に置換できること。
ユーザー管理	5-16	サイト管理者は、ユーザーの登録・更新・削除を行えること。また、ユーザーの操作権限・ID・パスワードなどの管理ができること。
	5-17	サイト管理者は、登録済みのユーザー情報をCSVなどに出力できること。また、事前にExcelなどのデータで作成したCSVなどを利用してユーザー情報をCMSに取り込めること。
	5-18	サイト管理者は、人事異動時に伴うユーザーの所属変更を、事前にExcelなどのデータで作成したCSVなどを利用して簡単に行えること。また、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。
	5-19	サイト管理者は、ユーザーの操作履歴(ページの公開・削除、操作日時・操作者・操作ページ・操作内容など)を確認でき、CSVなどに出力できること。
組織管理	5-20	サイト管理者は、組織情報(部署・施設名、問い合わせ先情報など)の管理ができること。
	5-21	サイト管理者は、登録済みの組織情報をCSVなどに出力できること。また、事前にExcelなどのデータで作成したCSVなどを利用して組織情報をCMSに取り込み、組織改正などに簡単に対応できること。
	5-22	サイト管理者は、所属の統廃合・追加・問い合わせ先変更など、組織改正による情報更新を事前に予約でき、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。
	5-23	サイト管理者は、組織改正時に記事ページの移動(所属カテゴリの変更)などが簡単に行えること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

テンプレート管理	5-24	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。
	5-25	テンプレートは、HTMLやCSSの知識がある職員(サイト管理者)レベルで、修正、追加、削除ができること。
	5-26	テンプレートの修正があった場合、該当テンプレートを使用しているすべてのページを自動更新できること。
災害管理	5-27	災害や断水などの緊急時、トップページの目立つ位置に災害情報を配信できる機能を持つことが望ましい。
	5-28	大規模災害などの緊急時向けトップページのテンプレートを作成できる機能を持つことが望ましい。
	5-29	サイト管理者は、簡易な操作で災害時用トップページに切り替えられる機能を持つことが望ましい。
	5-30	スマートフォン版、および携帯電話版(導入する場合)のトップページも切り替えられる機能を持つことが望ましい。
バナー広告	5-31	トップページ・カテゴリトップページなど、任意のページの県が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。
	5-32	サブサイトに複数のバナー広告を表示できること。
	5-33	サイト管理者のみがバナー広告を管理・掲載・削除でき、特別な知識がなくても容易に操作できること。
	5-34	掲載期間を設定することで、あらかじめ登録しておいたバナー広告を自動的に掲載開始・終了できること。
	5-35	バナー広告の表示数は、容易に変更できること。
	5-36	画像データは、JPEG・GIF(透過GIF・アニメーションGIF)・PNG・BMPが使用できること。
	5-37	画像バナーに限らず、テキストバナーも容易に掲載できること。
	5-38	バナー広告の空きスペースには、「募集中」などの代替画像を表示できること。
	5-39	設置されたバナー広告がどれだけクリックされているかを集計する機能があり、集計された結果をCSVなどに出力できること。
カウントダウン	5-40	イベントなどの開催日まであと何日といった表示ができる機能があることが望ましい。
	5-41	イベントなどの開催日まであと何日といった表示は、トップページに3か所表示でき、それぞれ内容説明、および記事ページへのリンク設定などを、容易に操作できる機能があることが望ましい。
	5-42	イベントなどの開催日まであと何日といった表示は、記事ページに表示でき、それぞれ内容説明、および記事ページへのリンク設定などを、容易に操作できる機能があることが望ましい。

6. 承認ワークフロー

基本仕様	6-1	作成者から承認者への3段階以上の承認ルートがあること。
	6-2	管理の対象ごとに異なった承認ルートを設定することができ、上限は設けないこと。
	6-3	承認を依頼されたページを一覧で確認できる画面において、各ページの承認段階(3段階中2段階まで承認済みなど)が表示されること。
	6-4	新着情報に掲載する場合のみ、自動で通常承認ルートを経由し最終承認をサイト管理者が行える機能があることが望ましい。



【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	6-5	サイト管理者は、承認ルートの変更や追加を容易な操作で行えること。
	6-6	サイト管理者は、すべての記事ページの承認状況を確認できること。
	6-7	承認者は、承認依頼を受けた記事ページに対し、アクセシビリティチェックやプレビュー確認を行えること。
	6-8	承認者は、再承認依頼を受けた記事ページの変更された箇所を視覚的に確認できる機能があることが望ましい。
	6-9	承認依頼時や差し戻し時に、メールによる連絡が送信されること。
	6-10	作成者・承認者は、所属の記事ページの承認状況を確認できること。
	6-11	承認者は、承認依頼を受けた記事ページを差し戻す際、作成者向けにコメントを追記できること。
	6-12	作成者と同じIDのユーザーでは、承認作業はできないようにすることが望ましい。
代理承認	6-13	承認者が不在の時、代理承認などの手段によって記事ページが公開できること。
承認依頼中の修正	6-14	承認依頼中の記事ページを作成者自身がキャンセルし、記事ページ内容を再編集できること。
	6-15	承認者は、承認依頼を受けた記事ページを上書き編集できること。

7. その他の機能		
定型的な記事ページと専用の登録画面	7-1	定型的に情報登録を行うことで、決められた位置に決められた内容の情報が表示される定型的な記事ページを作成管理できること。
	7-2	記事ページ作成画面においては、あらかじめ登録内容、登録方法が決められた各項目に情報を記入したり選択肢から選択するだけで記事ページが作成されること。
	7-3	記事ページ作成画面における登録項目については、サイト管理者が、その登録方法(テキストエリア、ラジオボタン、チェックボックスなど)や必須の設定、登録内容の制限(最大文字数の制限など)を各項目ごとに自由に設定することが可能で、かつ項目数に上限なく追加更新できる機能を持つことが望ましい。
	7-4	定型的な記事ページは、複数作成管理でき、管理数の上限はないことが望ましい。
	7-5	定型的な記事ページは、それ以外の記事ページ(WYSIWYG機能などで作成した記事ページ)と比べ、カテゴリ分類や特定の記事ページへのリンク掲載などにおいて、全く同様に設定管理できることが望ましい。
	7-6	定型的な記事ページは、それ以外の記事ページ(WYSIWYG機能などで作成した記事ページ)と同様に、そのデザインはテンプレート化され、CSSにて定義されることが望ましい。
	7-7	定型的な記事ページは、それ以外の記事ページ(WYSIWYG機能などで作成した記事ページ)と同様のルールと機能にて、アクセシビリティなどのチェックや対応が可能であることが望ましい。
	7-8	定型的な記事ページは、それ以外の記事ページ(WYSIWYG機能などで作成した記事ページ)と同様の承認ルート設定が可能であることが望ましい。
多言語対応	7-9	英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の3カ国以上の言語に対する自動翻訳システムを導入すること。
	7-10	別に作成した、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、ラオス語、カンボジア語のテキストデータをCMSに取り込んで、正常に表示できること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

アクセス解析	7-11	ページごとのアクセス件数、検索キーワードなどが取得できること。
	7-12	閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。
	7-13	閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。
	7-14	解析結果は、CSVファイルなどで保存・出力できること。
	7-15	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。
サイト内検索	7-16	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページに配置すること。
	7-17	キーワード完全一致の検索だけでなく、表記の違いがあっても検索結果が表示される同義語検索機能が備わっていること。
	7-18	ページのみ、PDFのみに絞った検索や、分類を選択した検索ができること。
	7-19	広報誌などに付与された記事IDや記事番号を入力してページを検索できる機能を持つことが望ましい。
	7-20	サイト内と別サーバで稼働している本市関連ページ内の検索ができること。
	7-21	検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダー、フッターを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。
問い合わせ	7-22	すべての記事ページに、その記事ページに関するSSLに対応した問い合わせフォームを自動で挿入でき、閲覧者が意見・問い合わせなどを簡単に送信できること。
	7-23	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認できること。
	7-24	投稿者からの問い合わせに対し、メールで回答できること。
アンケート	7-25	SSLに対応したアンケートフォームを容易に作成できること。
	7-26	サイト管理者だけではなく、各所属にてアンケートを作成できること。
	7-27	同時に複数のアンケートが設定できること。同時に開設できるアンケートページ数に上限がないこと。
	7-28	アンケートは指定した公開日・削除日に、自動公開・自動削除できること。
	7-29	各アンケートページの設問数は、上限がないこと。
	7-30	各設問は、択一方式(ラジオボタン)、複数選択可(チェックボックス)、プルダウンメニュー、自由記入欄のほか、一般的なフォームのスタイルを自由に採用できること。
	7-31	入力項目には、必須・任意の設定ができること。
	7-32	作成したアンケートページに、画像の貼り付けや各種ファイル(例:PDF)へのリンク、関連ページへのリンクなどの掲載ができること。
	7-33	アンケート結果を集計する機能があり、途中集計や集計された結果をCSVファイルなどで保存・出力できること。
	7-34	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認でき、送信後に自動返信メールを送信できること。
	FAQ機能	7-35
7-36		FAQページ(よくある質問ページ)には、関連ページへのリンクや問い合わせ先を容易に設定できること。
7-37		関連ページや問い合わせ先が変更・移動・削除された場合は、自動で修正できること。

【別紙4】 CMS機能要件一覧表

	7-38	カテゴリによる検索が可能であること。
ウェブブック	7-39	パソコンおよびスマートフォンにて再生できるウェブブック(ページをめくるような操作で閲覧できる、拡大縮小機能を有する)を作成できる機能を持つことが望ましい。
	7-40	ウェブブックは、各所属の担当者にてCMSから簡易な操作で作成、編集ができることが望ましい。
	7-41	作成できるウェブブックの冊数に上限がないこと、追加の費用が発生しないことが望ましい。

いわて県民情報交流センター・アイーナ 有料貸出施設向け貸出備品一覧表

利用可能施設	分類	備品名	在庫数/単位	単価(円) 1区分料金	備考		
小田島組☆ほくる	照明設備	◆ 第1スポットライト	1 式	2,780	昇降式 調光14回路C20A×28、直C30A×2		
		◆ 第2スポットライト	1 式	3,570	昇降式 調光14回路C20A×28、直C30A×2		
		◆ 第3スポットライト	1 式	3,570	昇降式 調光14回路C20A×28、直C30A×2		
		◆ 第4スポットライト	1 式	3,570	昇降式 調光14回路C20A×28、直C30A×2		
		◆ 第5スポットライト	1 式	3,760	昇降式 調光14回路C20A×28、直C30A×2		
		◆ 第6スポットライト	1 式	1,590	固定式 調光14回路C20A×28、直C30A×2		
		◆ 第7スポットライト	1 式	1,210	固定式 調光10回路C20A×20、直C30A×2		
		◆ 第8スポットライト	1 式	1,210	固定式 調光10回路C20A×20、直C30A×2		
		◆ カラーフィルター	1 式	200			
		◆ クセノンフッロースポットライト	2 台	1,260	1kw 9階調整室に設置		
		◆ プロジェクタースポットライト (PI- II)	2 台	220			
		◆ ディスクマシーン (DE- II)	2 式	370			
		◆ スライドキャリアマスク (SC- II)	2 式	120			
		◆ ダブルマシン (CE- II)	2 式	220			
		◆ リニアエフェクト (XE- II)	2 式	300			
		◆ パターンアダプター(HA)	2 式	40			
		◆ ミラーボール (丸変速型)	1 式	100			
		◆ ミラーボール (楕円変速型)	1 式	140			
		◆ 波エフェクト	2 式	70			
		◆ ステージスポットライト(CX8M×54)	54 台	230	1kw		
		◆ ステージスポットライト(FX-8×36)	36 台	230	1kw		
		◆ ステージスポットライト(PL-64×56)	56 台	230	1kw		
		◆ ステージスポットライト(CS-6)	12 台	200	0.5kw		
		◆ エリアソイダルスポット(S4-436)	8 台	60	750W		
		◆ ストップライト	7 台	90	12灯		
		◆ スモークマシーン (rosco1700)	2 式	220			
		映像設備		高輝度プロジェクター (Panasonic PT-RZ12KJ)	1 台	14,400	12,000lm (スクリーン300インチ 16:9)
				ビジュアルプレゼンター (書画カメラ) (ELMO HV-400XG)	1 台	840	
				移動型液晶プロジェクター (Panasonic TH-D5500)	1 台	3,160	5000lm
		舞台設備		電動昇降式演台	1 台	1,110	H880mm~1,080mmの範囲で高さ調整可能
				司会者台 (H1,000で固定)	1 台	910	
				スタッキングテーブル	30 台	90	3人掛け、袴付き
				箱階段 (H300・H450用、H600用)	4 台	240	
			花台	2 台	200		
			◆ 金屏風	1 双	2,540		
			◆ 白屏風	1 双	2,540		
			◆ 旗パネル (W1,500×H1,000)	3 枚	280	国旗、県旗、アイーナロゴ各1枚 合計3枚	
			◆ コンサートグランドピアノ (YAMAHA CFⅢS)	1 台	14,630	小田島組☆ほくる専用	
			◆ セミコンサートグランドピアノ (YAMAHA S6B)	1 台	5,420	小田島組☆ほくる、リハーサル室で利用可	
			◆ 電子ピアノ (ヤマハ CVP-503)	1 台	310	小田島組☆ほくる、リハーサル室で利用可	
			指揮者台	1 台	150		
			指揮者用譜面台	1 台	70		
			譜面台	40 台	70		
			平台	10 台	160		
			箱足	20 台	10		
			ホール専用 展示パネル (1組7枚 W1,800×H2,100)	3 組	1,150	1組7枚セット	
			プログラムスタンド (木製)	1 台	130	適合用紙サイズW400×H1,200	
	◆ 仮設ステージ (H300~700×W2,000×D1,000)		54 枚	940			
	◆ 水引幕		1 枚	610			
	◆ 源氏幕		1 枚	380			
	◆ 引割幕		1 対	1,960			
	◆ 袖幕		1 対	420			
	◆ 一文字幕(H4,550mm)		1 枚	910			
	◆ 一文字幕(H3,220mm)		1 枚	650			
	◆ バック幕		1 枚	1,790			
	◆ タヌ黒幕		1 枚	680			
	◆ 地絨(W18,000) (色: グレー、黒)		1 枚	1,070	釘打ち不可		
	◆ 地絨(W6,000) (色: グレー、黒)		1 枚	220	釘打ち不可		
	パンチカーペット		1 巻	270			
	◆ リリウム		4 巻	80			
	ミーティングチェア (キャスター付、固定不可)		40 台	20			
その他			◆ 同時通訳装置	1 式	17,750		
			◆ 国際会議用テーブル	1 式	14,090		

注1: ◆印ある備品については利用に際しては利用に際しての事前打合せ、ご予約が必要です。

無料貸出備品

利用可能施設	分類	備品名	在庫数/単位	単価(円) 1区分料金	備考
共通	映像・音声	USB-C⇒HDMI変換アダプター	5 個	0	
		Lightning⇒HDMI変換アダプター	2 個	0	Mac用
		スプリッター	3 台	0	HDMI出力を映像と音声に分離する機器
		レーザーポインター	6 台	0	
	その他	賞状盆	2 枚	0	白手袋、袱紗
		和室用ホワイトボード	2 台	0	606、607、608、809専用

※無料貸出備品の在庫数は限りがあります。

いわて県民情報交流センター・アイーナ 有料貸出施設向け貸出備品一覧表

利用可能施設	分類	備品名	在庫数/単位	単価 (円) 1区分料金	備考
ギャラリー アイーナ	展示設備	◆ 展示台 (W600×D500×H850) (ケースを含めた高さ: 1,280)	13 台	140	
		◆ 展示台 (W900×D900×H600) (ケースを含めた高さ: 900)	3 台	270	
		◆ 展示台 (W900×D900×H600) (ケースを含めた高さ: 1,050)	1 台	330	
		◆ 展示台 (W900×D900×H600) (ケースを含めた高さ: 1,200)	1 台	360	
		昇降式自立パネル (H2,200×W2,000×D600)	4 台	770	両面展示可能、鉸打ち、アート用ピン打ち可
	照明設備	床面照明器具	10 個	30	
		スポットライト	50 個	20	ハロゲン85W
ウォッシュライト		16 個	20	蛍光管	
その他	可動カウンター	2 台	80	受付用テーブル	
練習スタジオ / 機材あり	機材	ドラムセット (PEARL SMX925/c-d)	1 台	730	
		ギターアンプ (Roland JC-120・Fender Twin Reverb)	1 台	740	
		ベースアンプ (ヘッド/キャビAmpex SVT-3PRO/SVT-810 E/AV)	1 台	640	
		電子ピアノ (KAWAI PW7)	1 台	310	88鍵
		シンセサイザー (KORG TR61)	1 台	260	PA必要 (単体で音は出ません。)
		譜面台	6 台	10	
		丸椅子 (楽器演奏用)	5 脚	10	
		スピーカーパワーアンプセット (YAMAHA EMX312SC)	1 式	950	シンセ、マイク利用時必要
		ダイナミックマイクロホン (SHURE SM58)	4 本	60	
		ダイナミックマイクロホン (RAMSA WM-D150SW-K)	4 本	30	
		コンデンサーマイクロホン (WM-C70)	2 本	120	
		マイクスタンド (ブーム式)	3 台	50	
マイクスタンド	3 台	50			
ステレオヘッドホン	1 個	30			
801	映像 音響	固定型プロジェクター (天井吊) (SONY VPL-CH355)	1 台	1,220	4,000lm 会議室801で利用可能
		ブルーレイディスクプレイヤー (Panasonic DMP-BD88)	1 台	100	単独での利用はできません。
802	映像	放送設備 (ワイヤレスマイク4本、有線マイク2本)	1 式	1,070	
803	映像	固定型プロジェクター (天井吊) (CASIO XJ -J110W)	1 台	1,220	3,500lm 会議室802で利用可能
		固定型プロジェクター (天井吊) (SONY VPL-CH375)	1 台	1,220	5,000lm 会議室803で利用可能
804	映像	ブルーレイディスクプレイヤー (Panasonic DMP-BD88)	1 台	100	単独での利用はできません。
804	映像	固定型プロジェクター (天井吊) (RICOH PJ WUL5970)	1 台	6,290	5,500lm 会議室804一括及び分割で利用可能
810	映像	固定型プロジェクター (天井吊) (CASIO XJ -J110W)	1 台	1,220	3,500lm 研修室810で利用可能
811	映像	固定型プロジェクター (天井吊) (CASIO XJ -J110W)	1 台	1,220	3,500lm 研修室811で利用可能
812	映像	固定型プロジェクター (天井吊) (SONY VPL-CH375)	1 台	1,220	5,000lm 研修室812で利用可能
		ブルーレイディスクプレイヤー (Panasonic DMP-BD88)	1 台	100	単独での利用はできません。
501	音響	放送設備 (ワイヤレスマイク4本、CD再生/MD再生・録音可)	1 式	1,460	外部入力端子付 (RCA L/R,ミニピン変換可能)
共通	音響	簡易スピーカーシステム (有線マイク2本のみ、増設不可)	6 台	230	外部入力端子付 (RCA L/R,ミニピン変換可能)
		簡易スピーカーシステム (有線マイク1本のみ、増設不可)	2 台	230	
		CD/MDラジカセ (CD/MD・カセット再生、マイクは利用不可)	4 台	130	
		Bluetoothスピーカー (Web会議対応)	2 台	210	
	照明	発光ダイオードスポットライト (東芝ライテック AL-LED-FS-6-2)	6 台	300	スタンド付き
	映像機器	ビデオ一体型/DVDプレーヤー	5 台	70	プロジェクターと接続が必要です。
		ポータブルブルーレイディスクプレイヤー	5 台	70	プロジェクターと接続が必要です。
		移動スクリーン (80インチ、4:3、投影面 H1,220×W1,620)	3 台	150	
		移動型プロジェクター (大会議室向き) (カシオ XJ-A 252)	5 台	700	3,000lm
		移動型プロジェクター (小・中会議室向き) (カシオ XJ-A140V)	5 台	360	2,500lm
		書画カメラ (大会議室用) (ELMO HV-600XG)	2 台	490	プロジェクターと接続が必要です。
		書画カメラ (小中会議室用) (PLUS VC-300)	2 台	280	プロジェクターと接続が必要です。
		プロジェクター・書画カメラ台 (H1,000×W500×D600)	5 台	170	
		◆ 210インチスクリーン (投影面H4,200×W3,200)	1 台	550	ホール、県民プラザ専用
	PC	ノートパソコン (OS:Windows 10、Microsoft Office2019)	8 台	420	
	その他	ホワイトボード	9 台	60	マーカー (黒・赤・青)、レーザー付
		展示パネル (H1,850×W1,300)	48 枚	120	鉸打ち、アート用ピン打ち可
		スタッキングテーブル (W1,800 or W1,500×D600×H700)	20 台	90	3人掛け・2人掛け、袴あり
		折りたたみテーブル (W1,800×D600×H700)	79 台	20	3人掛け、袴なし
		移動ステージ (H100 or H400) ×W1,200×D2,400	8 台	610	
パイプ椅子		100 脚	20		
司会者台 (H1,000で固定)		6 台	910		
◆ 金屏風		3 双	750		
茶道具 (詳細は別紙)		1 式	670	和室606、607、608専用	
持込機器に係る電気使用料	1 kw	160	1kw (1,000W) 毎		

注2: ◆印ある備品については利用に際しての事前打合せ、ご予約が必要です。

注3: サイズ表記について W=横幅、D=奥行、H=高さ、単位は全てmm(ミリメートル)

注4: すべての備品は区分単位での貸出となります。アイーナの利用区分=午前 (9:00-12:00) 午後 (13:00-17:00)、夜間 (17:30-21:30)

例: 午前と午後ご利用の場合は2区分、終日 (午前から夜間) ご利用の場合は3区分の計算になります。

注5: 施設利用延長時に備品をご利用の場合は1区分の料金をいただきます。

注6: インターネットでの備品のご予約は承っておりません。電話、ファクシミリ、メールでのお問合せ、お申し込みをお願いいたします。

## 貸出施設利用料金一覧表

## ■小田島組☆ほ～る[最大507席]

(単位:円・税込)

区 分		(午前) 9:00～12:00	(午後) 13:00～17:00	(夜間) 17:30～21:30	(午前・午後) 9:00～17:00	(午後・夜間) 13:00～21:30	(午前～夜間) 9:00～21:30	
小田島組☆ほ～る	入場料を徴収しない場合	土曜日及び休日	14,010	23,720	29,110	39,880	56,060	68,990
		その他の日	10,780	19,410	23,720	33,420	46,360	58,210
	1,000円未満 の入場料を徴収する場合	土曜日及び休日	20,480	33,420	42,040	56,060	78,700	98,090
		その他の日	16,160	28,030	34,490	47,440	65,750	80,850
	1,000円以上3,000円未満 の入場料を徴収する場合	土曜日及び休日	26,950	43,110	54,980	73,310	101,340	126,120
		その他の日	21,560	35,570	45,280	60,370	85,160	105,650
	3,000円以上5,000円未満 の入場料を徴収する場合	土曜日及び休日	35,570	58,210	73,310	98,090	135,830	169,250
		その他の日	29,110	48,510	60,370	80,850	113,190	140,140
	5,000円以上 の入場料を徴収する場合	土曜日及び休日	45,280	73,310	91,630	122,890	170,320	211,280
		その他の日	36,650	60,370	75,460	101,340	142,300	175,710
小田島組☆ほ～る付帯施設	シャワー室704	430	650	650	1,400	1,400	2,160	
	シャワー室705	430	650	650	1,400	1,400	2,160	
	シャワー室706	430	650	650	1,400	1,400	2,160	
	リハーサル室	(58m <sup>2</sup> )イス20脚・鏡	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
	ミーティングルーム707	12名	1,300	1,730	2,580	3,230	4,310	5,820
	ミーティングルーム708	6名	750	970	1,400	1,940	2,370	3,340
	控室709	6名	650	750	970	1,510	1,730	2,700
	控室710	24名	2,260	3,010	3,660	5,490	6,690	9,810
	控室711	12名	1,510	2,050	2,370	3,560	4,420	6,470
	控室712	4名	750	970	1,300	1,940	2,260	3,340
控室713	4名	750	970	1,300	1,940	2,260	3,340	

## ■ギャラリーアイーナ

区 分		(午前) 9:00～12:00	(午後) 13:00～17:00	(夜間) 17:30～21:30	(午前・午後) 9:00～17:00	(午後・夜間) 13:00～21:30	(午前～夜間) 9:00～21:30
展示室1	入場料を徴収しない場合	970	1,400	2,050	2,370	3,450	4,740
	1,000円未満の入場料を徴収する場合	1,510	2,160	3,010	3,660	5,280	7,110
	1,000円以上の入場料を徴収する場合	2,050	2,910	4,100	4,960	7,110	9,490
展示室2	入場料を徴収しない場合	2,260	3,340	4,630	5,610	7,970	10,570
	1,000円未満の入場料を徴収する場合	3,450	4,960	6,890	8,410	11,850	15,850
	1,000円以上の入場料を徴収する場合	4,630	6,690	9,270	11,320	15,950	21,340
展示室3	入場料を徴収しない場合	2,910	4,210	5,930	7,110	10,140	13,580
	1,000円未満の入場料を徴収する場合	4,310	6,470	8,840	10,780	15,310	20,370
	1,000円以上の入場料を徴収する場合	5,930	8,620	11,850	14,550	20,480	27,270

## ■会議室等[5階・6階]

区 分	最大定員	(午前) 9:00～12:00	(午後) 13:00～17:00	(夜間) 17:30～21:30	(午前・午後) 9:00～17:00	(午後・夜間) 13:00～21:30	(午前～夜間) 9:00～21:30
		会議室501 (A・B一体利用)	スクール型90名(3人掛)	6,780	9,160	12,920	16,480
	会議室501(A)	3,390	4,580	6,460	8,240	11,050	14,440
	会議室501(B)	3,390	4,580	6,460	8,240	11,050	14,440
会議室601	テーブル型10名(2人掛)	970	1,400	1,940	2,580	3,340	4,530
会議室602	24名(3人掛)	2,700	3,560	5,180	6,580	8,740	11,640
会議室603	テーブル型8名(2人掛)	860	1,080	1,620	2,160	2,800	3,880
会議室604	テーブル型8名(2人掛)	860	1,080	1,620	2,160	2,800	3,880
会議室605	12名(3人掛)	1,300	1,620	2,370	3,010	3,990	5,390
会議室606(和室)	(8畳)6名	650	860	1,300	1,510	2,160	2,800
会議室607(和室)	(8畳)6名	650	860	1,300	1,510	2,160	2,800
会議室608(和室)	(6畳)6名	650	860	1,300	1,510	2,160	2,800
調理実習室	30名	6,890	9,370	9,380	11,940	15,780	20,620
世代間交流室	(233m <sup>2</sup> )100名	11,750	15,740	15,750	19,870	26,470	34,710
練習スタジオ(機材あり)	(23m <sup>2</sup> )演奏機材等は別途有料	860	1,300	1,730	2,260	3,010	3,990
練習スタジオ(機材なし)	(16m <sup>2</sup> )8名	860	1,300	1,730	2,260	3,010	3,990

## ■会議室・研修室〔7階・8階〕

(単位:円・税込)

区分	定員	(午前)	(午後)	(夜間)	(午前・午後)	(午後・夜間)	(午前～夜間)
		9:00～12:00	13:00～17:00	17:30～21:30	9:00～17:00	13:00～21:30	9:00～21:30
会議室701	スクール型36名(3人掛)	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
会議室702	スクール型36名(3人掛)	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
会議室703	スクール型36名(3人掛)	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
会議室801(特別)	楕円形テーブル24名	4,960	6,690	9,370	12,070	16,060	21,020
会議室802	スクール型36名(3人掛)	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
会議室803	スクール型150名(3人掛)	11,420	15,310	21,450	27,600	36,760	48,190
会議室804(A・B一体利用)	スクール型300名(3人掛)	19,720	26,300	36,960	47,540	63,280	83,000
会議室804(A)	スクール型150名(3人掛)	9,860	13,150	18,480	23,770	31,640	41,500
会議室804(B)	スクール型150名(3人掛)	9,860	13,150	18,480	23,770	31,640	41,500
会議室805	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
会議室806	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
会議室807	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
会議室808	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
会議室809(和室)	18名(20畳)	2,050	2,700	3,880	4,850	6,580	8,620
研修室810	スクール型36名(3人掛)	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
研修室811	スクール型36名(3人掛)	3,340	4,530	6,260	8,090	10,780	14,230
研修室812	スクール型150名(3人掛)	11,420	15,310	21,450	27,600	36,760	48,190
研修室813	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
研修室814	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
研修室815	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
研修室816	16名(2人掛)	1,510	2,050	2,910	3,880	4,960	6,690
研修室817	20名(2人掛)	2,050	2,700	3,880	4,850	6,580	8,620

## ■イベント広場

(単位:円/時間)

区分	A	B	C	D	E	全面
屋外広場	700	1,570	680	790	1,010	4,750
県民プラザ	690	780	780	970	—	3,220
アイーナスタジオ	—	—	—	—	—	620

※備考

- 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず、その催しにつき入場の対価として徴収する金銭をいいます。
- 入場料の額に段階がある場合は、最高入場料の額によりこの表を適用します。
- 入場料を徴収しないが営利宣伝その他これに類する目的で使用する場合は、小田島組☆ほ～るにあっては5,000円以上、展示室にあっては1,000円以上の入場料を徴収する場合の利用料金と同額、それ以外の施設にあっては、それぞれの利用料金の3倍に相当する額とします。
- 小田島組☆ほ～る・ギャラリーについて、本番利用の前後の日に準備・撤去若しくは練習等のために使用する場合は、入場料を徴収しない場合の利用料金の70パーセントに相当する額とします。
- 使用時間がやむを得ない理由によりあらかじめ許可された使用時間を超える場合は、規定により加算した利用料金をお支払いいただきます。

## ■各種申請書・施設料金・貸出備品一覧表

◎右記QRコードからアイーナホームページにてご確認下さい。



## 貸出施設の利用申込

### ■利用申込方法

◎電話、FAX、インターネットにより予約をすることができます。この場合は、次のとおり、正式申請手続が必要になります。

予約の方法			受付時間
電話 [019-606-1717]	管理事務室へお申込みください。	左記ご予約をいただいた時点で正式お申込みとさせていただきます。	9:00～21:00
FAX [019-606-1716]	所定申請書により管理事務室に提出してください。		24時間
施設予約システム	アイーナHP <b>施設予約</b> からご利用ください。		24時間

### ■受付期間

◎各施設の利用申込の受付期間は次のとおりです。

施設区分	受付期間
小田島組☆ほ～る、同付帯施設(控室等)、会議室・研修室(7階・8階)、ギャラリーアイーナ、屋外広場、県民プラザ、アイーナスタジオ	使用する月の24ヶ月前
会議室等(5階・6階)	使用する月の6ヶ月前

### ■抽選申込

◎利用申込は先着順で受付けますが、次の抽選申込期間中に複数の申込があった場合には抽選で利用者を決定します。所定の申請書にてお申込みください。

◎国際的・全国的な規模を有する催事の場合、予約を優先的に受け付ける場合がありますので、管理事務室にお尋ねください。

施設区分	抽選申込の期間	抽選日
小田島組☆ほ～る、同付帯施設(控室等)、会議室・研修室(7階・8階)、ギャラリーアイーナ、屋外広場、県民プラザ、アイーナスタジオ	利用月の25ヶ月前の20日～月末 (利用日令和8年4月1日の場合→令和6年3月20～31日)	利用月の24ヶ月前の月初
会議室等(5階・6階)	利用月の7ヶ月前の20日～月末	利用月の6ヶ月前の月初

### ■利用料金の支払方法

◎利用料金は、原則として使用の当日(使用する前)までに現金納付又は指定口座への振込によりお支払いください。

◎貸出施設の利用料金、利用方法・有料貸出備品等の詳細については、管理事務室にお尋ねください。

【アイーナ2階 管理事務室】

TEL:019-606-1717 FAX:019-606-1716

E-mail : info@aiina.jp

## 利用者側画面

項目	No	要件
画面構成	1-1	ユニバーサルデザインに対応した、わかりやすい画面構成であること
	1-2	KIOSK端末からの操作を考慮した画面構成であること（タッチパネル操作を考慮したボタンデザイン、別ウィンドウが開かないようにするなどの配慮がある）
	1-3	携帯電話から操作する際にも操作しやすい画面構成であること。携帯用のサイトでは、画像を控えるなど利用者に不要な通信費を負担させない配慮があること
	1-4	スマートフォンからの操作がしやすいよう、専用の画面を設けること ピンチアウト操作を使用せずに画面遷移できること
	1-5	利用者が、システムに関する問合せ先を全ての画面で確認できるようになっていること
	1-6	パンくずリストなど、操作の経路を示す機能があり、そこから選択をしないおすなどの操作を行なえること
	1-7	予約申込、抽選申込に関わらず、同じ経路で申し込みができること。 ※最初にメニューで分けるのではなく、照会した月が抽選受付中であれば抽選申し込み、一般予約受付中であれば予約申込、というように、同じ画面を使ってそれぞれの申し込み処理を行なえること
	1-8	利用目的や曜日を指定して、複数の施設の空き状況を一度に閲覧できること （曜日の指定は、毎週、あるいは第〇というように週指定も可能であること）
	1-9	携帯電話から操作する画面では、メインとなる画面で、数字や記号などのキー入力でリンク先へ移動できること
	1-10	トップページには5つの機能へのリンクボタンを設置すること [空き状況を確認][マイページ][施設のご案内][ご利用の手引き][施設のお知らせ]
	1-11	トップページから[利用者登録申し込み]ができること このボタンは機能を使用しない場合には非表示にできること
	1-12	タブレット端末からの操作がしやすいように専用の画面を設けていること
	1-13	施設のお知らせにはRSSボタンを設置すること
空き状況照会	2-1	利用者認証をせずに、空き状況の照会ができること
	2-2	空き状況の表示は、直感的にわかりやすい記号などで表記していること また、その意味を説明した凡例があること
	2-3	空き（○）か予約済（×）かのほかに、休館、保守などの表示をさせることができること また、表示させる単語は管理者の権限でいつでも追加することができること
	2-4	照会した日の空き状況から、簡単に翌日、前日や1週間後、1週間前の空き状況を確認できること
	2-5	施設分類（体育館、グラウンド、公民館、地域名称）や名称を選択していくことで空き状況を照会できること
	2-6	利用日と利用目的から施設の空き状況を照会できること
	2-7	指定した日の複数の施設の空き状況を、一目で判りやすく照会できる画面があること （所在地や施設の種別に関わらず、〇〇ができる施設を探したいという要望に対応）
	2-8	複数の施設の予約を一括で申し込む機能を有すること
	2-9	利用目的や曜日を指定して、複数の予約を一括で申し込む機能を有すること （曜日の指定は、毎週、あるいは第〇というように週指定も可能で、複数選択も可能であること） また、催事名を登録できること
	2-10	空き状況の照会を行なえる時間を、部屋毎に制限することができること
	2-11	空き状況の照会を行なうかどうかを部屋単位で設定できること
	2-12	部屋を面分割して公開するとき、空き状況を公開するかどうかを面分割単位で設定できること
	2-13	予約申込受付期間外の期間において、空き状況を照会させるかどうかを施設単位で設定できること
	2-14	部屋の空き状況画面から、再度施設や曜日の指定をすることなく、利用者認証を経て、予約申込みができること
	2-15	月間の空き状況画面から、特に日付などを入力しなおすことなく、翌月や翌々月～1年以上先の空き状況を確認できること
利用者登録	3-1	利用者登録は、インターネットから申請することができること
	3-2	インターネットから申請された利用者情報は仮登録として扱われ、職員が承認するまで予約操作は行なえないこと
	3-3	利用者へ利用者登録申請の受付確認のメールを自動送信できること その際、メールが不到達となった利用者については承認できないというような制限があること（メールの疎通確認）



## 利用者側画面

項目	No	要件
	3-4	利用者へ登録完了のお知らせメールを送信できること また、その内容は個別に修正も可能であること
	3-5	SSL暗号化通信等の暗号化通信を行なうこと
認証	4-1	IDとパスワードで認証を行うこと
	4-2	SSL暗号化通信等の暗号化通信を行なうこと
	4-3	認証後、マイページからパスワードを含めた利用者情報を変更できること
	4-4	IDとパスワードの入力欄には入力桁数制限を設けることができること
	4-5	連続してID/パスワードを誤った場合に、ロックする（ログインできなくする）ような機能があること また、ロックするまでの誤入力の回数を設定で変更できること
	4-6	パスワードを忘れた場合でも、あらかじめ登録している利用者ID・メールアドレスを利用してパスワードの再設定が可能であること
	4-7	連続認証エラーによるロックを解除する方法として、職員による解除か時間経過による解除かを、設定によりいつでも変更できること
	4-8	利用者認証を行なう時間帯を設定により制限できること
予約	5-1	利用者がインターネットから、予約の申込、照会、取消ができること
	5-2	利用者登録をしていない状態では、インターネットから予約ができないこと
	5-3	インターネットからの予約を受け付けるか否かを部屋毎に設定できること また、空き状況のみ照会するといった設定も可能なこと
	5-4	窓口の受付時間に合わせ、閉庁日には予約を申し込むことができない等の設定が室場単位で可能なこと
	5-5	インターネットからの予約を受け付ける期間を、部屋毎に設定できること
	5-6	面分割の貸出が可能であり、その場合、一部を貸出したら全面で貸出不可能となるような排他機能を有すること
	5-7	季節によって施設の運営時間（野球場のナイターなど）が異なる場合にも対応できること
	5-8	曜日によって施設の運営時間が異なる場合にも対応できること
	5-9	利用者の区分（市内、市外など）により、インターネットからの予約受付期間を別に設定できること
	5-10	特定の利用者に対し、インターネットからの予約のみ不可とするというような制限が可能であること
	5-11	利用者の区分（団体、個人など）により、インターネットからの予約の可・不可を部屋毎に設定できること
	5-12	予約の入力の際には、利用人数の入力ができること 利用人数は、男女別に入力/合計のみを入力を施設単位で設定できること
	5-13	部屋毎に設定された定員を超えた人数では申し込みができないこと
	5-14	同じ施設の複数の予約を簡単に繰り返し申し込めること
	5-15	部屋に備え付けの設備（大型の備品、控室など）を、同時に申し込めること
	5-16	施設の分類毎に、1利用者あたりの予約件数の月別、週別、日別の制限ができること
	5-17	施設毎に、1利用者あたりの予約件数の月別、週別、日別の制限ができること
	5-18	部屋毎に、1利用者あたりの予約件数の月別、週別、日別の制限ができること
	5-19	インターネットから申し込む場合のみ、指定した時間以上で申し込ませるなどの設定が部屋単位に可能なこと
	5-20	管理者側からは30分単位で申し込めるが、インターネットからは2時間単位でしか申し込めない等の設定が部屋単位に可能なこと
	5-21	予約登録完了のお知らせメールを自動送信できること。
	5-22	よく使う施設の部屋を、通常の予約入力手順より少なく申込みできる機能があること
抽選	6-1	利用者が、抽選の申込、照会、取消ができること ※ただし、抽選申込締切後、結果発表までは取消はできないこと
	6-2	通常の空き状況の照会や予約申込と同じ手順で、対象の期間/部屋の場合のみ抽選申込となるような構成であること (抽選のみ別メニューは不可)
	6-3	利用者登録の区分（個人、団体など）により、抽選申込の可・不可を部屋毎に設定できること
	6-4	抽選申込完了お知らせメールを自動送信できること
	6-5	抽選結果お知らせメールを自動送信できること
	6-6	メールを受け取らない設定の利用者も、利用者認証を経て画面上で当落を確認できること
	6-7	既に予約が入っている時間については、抽選申込みができないこと

## 利用者側画面

項目	No	要件
	6-8	既に申し込まれている抽選申込み件数を確認して、抽選申込を行なえること
	6-9	施設の分類毎に、1利用者あたりの抽選申込件数の月別、週別、日別の制限ができること
	6-10	施設毎に、1利用者あたりの抽選申込件数の月別、週別、日別の制限ができること
	6-11	部屋毎に、1利用者あたりの抽選申込件数の月別、週別、日別の制限ができること
	6-12	抽選に当選した場合、当選した申込みの中から利用者が選択して当選を予約へ移行できること（当選確定） また、この機能を使用せずすぐに予約へと移行することもでき、それを部屋毎に設定できること
	6-13	確定していない当選データがある場合、利用者がそれをひと目で確認できる画面があること
	6-14	当選確定を行なう回数/コマ数を1利用者毎に制限できること
	6-15	抽選に当選し、利用者が期間内に当選確定をしなかった場合に、自動的に当選を削除する機能があること
	6-16	予約は1時間毎だが抽選は2時間毎に受け付けるというような設定が部屋単位で行なえること
料金計算	7-1	施設の使用料が自動計算され、予約・抽選申込完了時、内容確認画面において確認できること
	7-2	複数の料金体系をもつ施設（学割など）においては、インターネットからの予約時に、利用者毎に予め設定した区分により自動的に料金計算が行なわれること
	7-3	利用者毎に予め設定した減免があり、申し込んだ部屋が減免適用のある部屋である場合には、自動的に減免適用済みの料金が算出されること
取消	8-1	インターネットからの予約の取消しを許可するか否かを部屋単位で設定できること
	8-2	インターネットからの予約の取消し可能期限を部屋単位で設定できること
	8-3	収納済の予約についてはインターネットから取消せないようになっていること
確認	9-1	利用者が自身の申し込んだ予約の内容を、専用のページで確認できること その際、利用済みのものも一定期間は掲載すること
	9-2	予約内容の確認用画面では、支払期限や使用料等の情報、支払い済みか否かを確認できること
	9-3	管理者から利用者へ向けられた個別のメッセージを、利用者認証後に閲覧できること
	9-4	申し込んだ予約の一覧や履歴の一覧は、予約番号や利用日、状況、利用施設などで並び替えができること
備品	10-1	施設利用とあわせて備品を使用したい場合は、施設の利用予約に備品を追加できること ※抽選申込み、当選したが確定していない状態、あるいは審査を待っている状態の予約については備品の追加はできないこと
	10-2	追加する備品は、複数個、複数種類を一度の操作で選択、追加できること
	10-3	施設の利用予約を取り消した際には、備品の予約も連動して取消されること
	10-4	備品の使用料金はそれぞれの備品毎に設定した料金に応じて自動計算され、合計と明細を確認できること （時間毎に料金がかかる備品については、施設の利用時間から自動的に料金が計算されること）
その他	11-1	予約・抽選申込完了時に、利用者が申込み内容を印刷できること
	11-2	トップページには職員が登録したお知らせを掲載することができること。 また、掲載期限を設け、自動的に掲載が開始され、終了される機能があること
	11-3	施設の基本情報を一覧で確認できる画面があり、そこから各施設の案内ページへリンクしていること。リンク先は管理者画面から設定可能で、リンクさせないこともできること。 また、システムからの予約を受付けていない施設についても一覧に掲載ができ、掲載の有無を施設毎に設定できること
	11-4	施設の月間行事予定を確認できること。掲載される行事は、予約システム内に登録された予約の、行事名（予約名）が反映されること。また、行事予定を掲載するかどうかを施設毎に設定できること
拡張	12-1	ページー連携や口座振替といった収納方法が可能になるようカスタマイズできること
	12-2	HPや大型モニターへの予約状況情報の出力など、外部への情報連携ができること

管理者側画面

項目		No	要件
操作性		1-1	管理者画面にはサイト名称を表示できること
		1-2	サイト内で迷わぬよう『パンくずリスト』を表示すること
		1-3	ログインしている職員名が画面に表示されていること
		1-4	ログアウトボタンを設置していること
		1-5	画面の縦スクロールにそなえ、[ページトップへ戻る]ボタンを設置すること
		1-6	ブラウザの文字サイズ拡大縮小に対応できること
お知らせ	お知らせ編集	2-1-1	利用者画面トップページに施設からのお知らせ事項を投稿できること
		2-1-2	掲載先として「制限なし/トップページ/RSSのみ」を選択することができ、SNSへお知らせ事項が転送されるようにできること。
		2-1-3	お知らせは掲載期間を設定できること
		2-1-4	お知らせは重要度「普通」「高い」「重要」を選ぶことができ、利用者画面へ表示した際に並び順をかえられること
	連絡事項掲示板	2-2-1	職員が情報共有を行なうための連絡事項機能を搭載していること
		2-2-2	連絡事項は、投稿した職員の管轄する施設内のみか、全施設の職員宛かを選択して投稿できること。施設内のみへの連絡事項は、その施設の管轄権限を持つ職員しか閲覧できないこと
2-2-3		連絡事項は掲載期間を指定できること	
本日分予約一覧		3-1	ログイン後最初に表示される画面は本日分予約一覧とすること
		3-2	本日分予約一覧は[印刷]ボタンからPDFを出力することができること
		3-3	本日分予約一覧は「付属室場を表示する」にチェックを入れることで付属室場の予約状況も表示できること
		3-4	本日分予約一覧では空き状況も表示できることとし、「空き」をクリックすると予約申込みができること
		3-5	本日分予約一覧では予約番号を表示することとし、クリックすると予約情報の「変更/収納」ができること
		3-6	本日分予約一覧では「1週間前/1週間後」「1日前/1日後」をクリックすることができること
収納管理	使用料等受付/使用許可	4-1-1	「予約番号、利用日、施設名(室場名)」の条件で予約検索することができること
		4-1-2	「予約のみ」にチェックを入れることで取消された予約は非表示になること
		4-1-3	収納済の予約も表示できることとし、未収納の予約には一目で分かりやすいように背景色を適用すること
		4-1-4	検索から表示された予約は[詳細]ボタンから予約情報詳細画面が閲覧できること
		4-1-5	検索から表示された予約は[不来場 受付]ボタンから予約を不来場にできること
		4-1-6	検索から表示された予約は[受付]ボタンから予約の収納処理ができること
		4-1-7	収納受付画面から「利用目的/人数/減免/割増/加算調整/調整額/オプション料金」が登録できること
		4-1-8	収納受付画面から収納日を任意で登録できること
		4-1-9	収納受付画面から受付施設をできること 但し指定しない場合には『利用施設と同じ』となること
		4-1-10	収納受付画面では[収納額自動計算]ボタンを設置し、利用料が計算できること
		4-1-11	収納した金種（現金、口座振替、口座振込、利用券、充当、その他など）の内訳を記録できること
		4-1-12	時間延長や付属室場などの追加により料金が一部入金となった場合 不足分を収納できること
		4-1-13	使用申請書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-1-14	許可申請書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-1-15	見積書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-1-16	請求書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-1-17	領収書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-1-18	検索から表示された予約は[取消]ボタンから予約の取消ができること
		4-1-19	取消画面では「備考」を入力することができること
		4-1-20	取消画面では「取消事由」をプルダウンで選択することができ 還付率が適用されること
		4-1-21	取消画面では「取消事由」をプルダウンで選択することができ 未収納の予約はキャンセル料が計算できること
		4-1-22	収納受付画面から収納日を任意で登録できること
		4-1-23	収納受付画面から受付施設を選択できること 但し指定しない場合には『利用施設と同じ』となること
		4-1-24	請求書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
	使用料等一括受付/使用許可	4-2-1	利用者IDごとに複数予約をまとめて収納できること
		4-2-2	「利用者ID、登録区分、利用者名、電話番号、利用目的」の条件で利用者IDを予約検索することができること
4-2-3		利用日、施設（室場）、収納状態で予約を検索できること	
4-2-4		「予約のみ」にチェックを入れることで取消された予約は非表示になること	
4-2-5		収納済の予約も表示できることとし、未収納の予約には一目で分かりやすいように背景色を適用すること	

管理者側画面

項目		No	要件
		4-2-6	検索から表示された予約は[詳細]ボタンから予約情報詳細画面が閲覧できること
		4-2-7	検索から表示された予約は[詳細]ボタンから予約情報詳細画面が閲覧できること
		4-2-8	検索から表示された複数予約を一括で不来場にできること
		4-2-9	検索から表示された複数予約を一括で取消できること
		4-2-10	検索から表示された複数予約を一括で収納にできること
		4-2-11	収納した金種（現金、口座振替、口座振込、利用券、充当、その他など）の内訳を記録できること
		4-2-12	収納受付画面から「利用目的／人数／減免／割増／加算調整／調整額／オプション料金」が登録できること
		4-2-13	収納受付画面から収納日を任意で登録できること
		4-2-14	収納受付画面から受付施設をできること 但し指定しない場合には『利用施設と同じ』となること
		4-2-15	収納受付画面では[収納額自動計算]ボタンを設置し、複数予約の利用料の合算ができること
		4-2-16	合計使用申請書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-2-17	合計許可申請書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		4-2-18	合計領収書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
予約管理	予約状況検索	5-1	「予約番号、利用者ID、利用者名、電話番号、予約状態、来場状態、施設（室場）、期間（利用日、申込日、支払期限）、収納状態、利用目的」の条件で予約検索ができること
		5-2	検索した予約一覧はCSV形式で出力できること
		5-3	「予約のみ」にチェックを入れることで取消された予約は非表示になること また「取消のみ」にチェックを入れることもできること
		5-4	検索から表示された予約は[詳細]ボタンから予約情報詳細画面が閲覧できること
		5-5	検索から表示された予約は[取消]ボタンから予約の取消ができること
		5-6	取消をお知らせをメール通知することができる
		5-7	予約変更画面から「利用目的／人数／減免／割増／加算調整／調整額／オプション料金」が登録できること
		5-8	施設や利用時間、料金の区分、減免など、使用料が変わる変更を行なった場合、料金を再適用させる機能があること。
		5-9	変更の際は、変更の事由を選択できること。また、その事由はマスタで追加、変更ができること
		5-10	使用申請書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		5-11	許可申請書はPDFを出力することができること また、「宛名なし」にチェックを入れることで宛名空欄で出力できること
		5-12	使用料が超過した場合には、返金する機能を有すること
		5-13	「還付する／還付なし」が選べること
		5-14	還付取消ができ、取消履歴を表示すること
		5-15	還付が必要な予約が「超過（還付）」と表示し、還付後は「還付済」とすること
		5-16	還付日を任意に指定して処理が行なえること
		5-17	超過した分の金額について同じ利用者の別の予約に充当する機能を有すること
		5-18	充当履歴が確認できること
	空き状況照会 ／予約申込	6-1-1	「施設、表示期間、表示時間帯（1日、1週間、2週間、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月）、曜日、利用目的」の条件で空き状況照会ができること
		6-1-2	空き状況はわかりやすい○×表示とし、休館の場合には「休」と表示すること
		6-1-3	○はクリックすることができそのまま日ごとの空き状況が表示されること
		6-1-4	日ごとの空き状況照会では「付属室場を表示する」にチェックを入れることで付属室場の予約状況も表示できること
		6-1-5	日ごとの空き状況照会では「空き」をクリックすると予約申込みができること
		6-1-6	日ごとの空き状況照会では予約番号を表示することとし、クリックすると予約情報の「変更／収納」ができること
		6-1-7	日ごとの空き状況照会では「1週間前／1週間後」「1日前／1日後」をクリックすることができること
		6-1-8	利用者IDを入力することで、利用者情報を呼び出して予約登録ができること また、利用者IDを呼び出した後、利用者ごとの周知事項を備考欄として赤字で表示できること
		6-1-9	利用者ID、登録区分、利用者名、住所、電話番号、利用目的の条件で 利用者を検索し、予約登録が行なえること
		6-1-10	申込画面から「利用時間、利用目的、人数、予約区分、催事名、備考、付属室場、減免、割増」が登録できること
		6-1-11	未登録者の申込ができること 氏名、電話番号、住所を入力できること
		6-1-12	管理者側から「保守」「開放」などの区分で予約申込をすることができること また、その時間帯は利用者画面では「×」ではなく「保守」「開放」と表示すること
		6-1-13	管理者側からは期間、時間の制限なく予約申込みができること
		6-1-14	インターネットでの回数制限を超えて、管理者側からは予約登録をできること
		6-1-15	予約完了時に、希望する利用者には予約内容をメールで通知できること
		6-1-16	予約完了からそのまま収納受付を行なうこともできること
		6-1-17	予約の状態を文字だけでなく色で識別できるように工夫されていること。 無料の予約、有料の予約、受付済、収納済が識別できると良い。

管理者側画面

項目	No	要件	
一括予約	6-2-1	同じ利用者IDの複数予約をまとめて申込みができること	
	6-2-2	一括予約完了後そのまま一括収納ができること	
	まとめて予約	7-1	年間の定期的な利用（室場、利用時間、曜日が同一の複数予約）を、簡単にまとめて申込みする機能を有すること
		7-2	「施設名（室場名）、利用時間、利用期間、毎週、第1,第2,第3,第4,第5、曜日」の条件で予約検索ができること
		7-3	利用目的や行事名などの情報は、一度の入力で済む構成となっていること
		7-4	まとめて予約完了後そのまま収納できること
	審査	7-5	インターネットから申込みがあった予約を職員による『審査』を経て承認、成立とすることができること
		8-6	管理者画面から代理申込みする際に『審査待ち』として登録することができること
		8-7	申込日、利用日で審査待ちの予約を検索することができ、『承認』または『不承』『保留』にすることができること
		8-8	一括承認ができること
		8-9	承認後は収納処理ができること
		8-10	審査結果をメールで通知することができること
	抽選	9-1	予約区分「抽選」を選択し抽選申込みができること ただし、回数制限はかからないこととする
9-2		抽選待ち一覧が表示できること またPDFとCSV形式で出力できること	
9-3		抽選結果一覧が表示できること またPDFとCSV形式で出力できること	
9-4		毎月システムによる自動抽選が実行されること	
9-5		公平を期すため、抽選処理の仕組みは、職員が確率を操作する余地のない、完全な機械抽選であること	
9-6		抽選申込については管理者側からであっても、内容の変更ができないこと	
9-7		当選者及び落選者が、施設毎にリストで確認できること その際、当選者のみを絞り込んで表示することもできること	
9-8		当落の照会が、利用者毎に行えること	
9-9		整備や大会等、予定の入っている日は抽選申込ができないこと	
9-10		当選確定を行なう設定の部屋の申し込みに対しては、管理者側からも確定処理を行なえること	
9-11		当選した予約、確定した予約は、抽選申込時と同一の予約番号で管理できること	
9-12		当選を確定しなかったために自動で取消された予約については、それが他の取消データとは区別され判らなくなっていること	
9-13		当選・落選のメールが自動通知されること	
予約状況出力	10-1	予約台帳をPDF形式で出力できること	
	10-2	予約台帳は施設毎に当日分の予約が一覧で確認できるほか、日付の指定により過去、未来、あるいは長期間の予約分も出力できること	
	10-3	予約台帳では、以下の項目を出力すること 予約番号、予約の状態、利用日時、団体名、行事名（予約名）、利用者名、利用者ID、電話番号、利用目的、料金、料金収納の状態、予約データの最終更新者	
	10-4	施設毎に1週間分の行事予定を一覧で確認できる帳票を有すること（PDF形式） また、指定期間を変更し、1週間以上や未満の期間で出力することも可能であること	
	10-5	行事予定を確認する帳票では、予約に登録された行事名（予約名）が自動的に表示され、行事名が空欄である場合は利用者名（団体名）が表示されていること	
	10-6	行事予定を確認する帳票は、CSV形式など加工できる形でも出力できること	
	10-7	当日（日付を指定し、過去未来分も可）の予約を、面毎、予約可能時間コマ毎に確認できる帳票を有すること（PDF形式） 例）ABCD面を有する会場の場合 9～11時 A面の予約、B面の予約、C面の予約 D面の予約（なければ空欄） 11～13時 A面の予約、B面の予約… ※利用者ID、利用者名、電話番号、予約番号、申込日、料金、収納状態が出力され、窓口担当者が処理済印を捺すスペースがあるものが望ましい。 複数のコマにまたがる予約の場合は、それぞれの時間に印字されるが、使用料の記載は開始時刻のコマの行にのみ印字されるとよい	
	10-8	月間の利用予定を、予約可能時間コマ毎に確認できる帳票を有すること（PDF形式） 例）5：00～7：00の予約のみを1か月分一覧表示	
	10-9	下記の条件から予約状況を検索しCSV形式で出力ができること 予約番号、利用者ID、利用者名、予約状態、施設、期間、収納状態、利用目的、電話番号、来場状態、室場	
統計管理	11-1	複数の統計をシステム上で集計、確認できること。 また、それらは帳票形式での出力のほか、すべてCSV形式など加工できる形でも出力できること。 ※職員の管轄外の施設分については閲覧できないこと。複数施設分を一度に出力できること 登録あるいは承認した職員の所属部署毎に、利用者登録の実績を集計できること	
	11-2	月ごとの新規登録件数を、市内、市外、団体、個人ごとに集計でき、登録期限切れなどを除いた有効登録者数を確認できること ※〇月～〇月という長期範囲での指定が可能であること	
	11-3	施設毎に、抽選の申込数、当選数、落選数、当選確率を集計できること ※〇月～〇月という長期範囲での指定が可能であること	

管理者側画面

項目	No	要件	
	11-4	施設の利用実績を、部屋（面）毎に集計できること。 集計対象の日数からは、休館日を除外し、日数のほか、コマ数に対しての実績も求められること。また、利用件数のほか、利用人数も集計できること ※〇月～〇月という長期範囲での指定が可能であること	
	11-5	施設の利用実績を、部屋（面）別に、予約可能時間コマ毎に集計できること ※〇月～〇月という長期範囲での指定が可能であること	
	11-6	新規に受付けた予約の一覧を、受付経路（職員端末、PC、携帯など）に関わらず一覧で出力できること。 予約に更新や取り消しがあった場合はその日時と、更新者を記録できること ※〇月×日～〇月×日という長期範囲での指定が可能であること	
	11-7	新規に受付けた予約の件数、更新の件数、取消の件数を、受付経路（職員端末、PC、携帯など）毎、部屋（面）毎に集計できること ※〇月×日～〇月×日という長期範囲での指定が可能であること	
	11-8	予約を利用日別に一覧で出力し、使用料と納付済額の集計ができること。 一覧には以下の項目が出力されること。 部屋（面）、予約番号、利用者ID、利用者名、利用時間、減免情報、利用人数、施設使用料、減免前の施設使用料、調整額、納付済の額と内訳（現金、利用券など） ※〇月×日～〇月×日という長期範囲での指定が可能であること	
	11-9	月間の予約件数を施設毎に集計できること。内訳として部屋（面）ごとの件数も出力されていること ※〇月～〇か月分という長期範囲での指定が可能であること	
	11-10	予約を利用施設別に、使用料の収納日で集計し一覧に出力できること 一覧には以下の項目が出力され、取消データを含むか除外するかを選択できること。 部屋（面）、予約番号、利用者ID、利用者名、利用日時、減免情報、利用人数、施設使用料、減免前の施設使用料、調整額、納付済の額と内訳（現金、利用券など） ※〇月×日～〇月×日という長期範囲での指定が可能であること また、収納処理を行なった施設別にも出力できること	
	11-11	月ごとの使用料の収納額を利用施設別、収納処理を行なった施設別でそれぞれ集計できること ※〇月～〇月という長期範囲での指定が可能であること	
	11-12	料金未納者の一覧を出力できること ※操作した日時点での未納者のほか、支払期限切れのみの絞込みも可能であること	
	11-13	減免の種別毎に部屋（面）毎の減免適用数と減免額を集計できること ※〇月～〇月という長期範囲での指定が可能であること	
	11-14	月間の利用人数を施設毎に集計できること。（詳細な利用人数の区分毎に集計できること） ※〇月～〇か月分という長期範囲での指定が可能であること	
	11-15	使用料の還付を行なったデータを、還付日で集計し一覧に出力できること 一覧には以下の項目が出力されること 還付日、予約番号、利用者ID、利用者名、利用日、減免情報、施設使用料、減免適用前の使用料、納付済額、変更・取消日、変更・取消理由、還付内訳、還付処理を行なった者 ※〇月×日～〇月×日という長期範囲での指定が可能であること	
	備品管理	12-1	在庫管理（個数管理）が必要な備品を登録し、貸し出しを管理できること
		12-2	単位、単価、在庫数を設定でき、変更があった場合には管理者が設定変更で対応できること
		12-3	複数種類、複数個の一度の操作で貸出せる（貸出予約ができる）こと
12-4		備品は管理者側から単独でも貸し出せるほか、インターネットから利用者が施設と合わせて貸出予約を行なうことができること	
12-5		備品のインターネットからの予約を受付けるかどうかについては、初期導入時に選択できること	
12-6		備品をインターネットから受付ける場合でも、備品毎にインターネットからの受け付け可否を設定できること	
12-7		備品毎に〇円/1回という料金設定と、〇円/〇分という料金設定、どちらかを選択して設定できること	
12-8		備品が故障した際など、貸し出し不可とすることができること	
12-9		備品の貸し出しについては、利用日前の貸出予約の状態から、実際に貸出している状態、返却された状態というように、状態（状況）を職員の処理によって遷移できること ※返却処理を行なわない備品は貸出中のままの在庫数で管理される	
12-10		備品の貸出予約情報を、利用者ID、貸し出し期間、状態（予約済、貸出中、返却済、取消、未収納、収納済、一部入金など）施設など、様々な条件で検索できること	
12-11		一覧では、貸出期限を過ぎたものについて色を分けるなど、わかりやすく表示されていること	
12-12		検索した一覧から、そのまま詳細情報の表示や、変更、取消の処理が行なえること	
12-13		備品貸出詳細情報の確認画面では、貸出予定期間や貸出の状態、明細、施設利用の予約番号、貸出予約を行なった日時、貸出を行なった日時、収納状況などが確認できること	
12-14	貸出の予約段階では、以下の項目を変更できること。 貸出予定日時、返却予定日時、施設利用の予約番号、備考、備品の個数、備品の追加、備品の削除		
12-15	備品使用料の収納処理は、単独で行なえるほか、貸出時、返却時にもそれぞれの画面で処理が行なえること		
12-16	備品の貸出申請書/貸出許可書をPDF形式で出力、印刷できること		
12-17	施設毎に備品の在庫状況を照会できること。在庫の状況は過去の日付においても当時の状況を照会することができ、表示範囲を1日、1週間、2週間、1ヶ月から選択できること		
12-18	備品はその種類や備品分類一覧に、自由に登録・管理できること		

管理者側画面

項目	No	要件
	12-19	備品に減免適用ができること
職員管理	13-1	職員はIDとパスワードの認証により、システムを使用できること
	13-2	ICカード認証の実績があること
	13-3	ログインパスワードの変更は職員が各自行なえること
	13-4	職員情報として、以下を登録できること 職員ID、職員名、職員番号、所属部署、パスワード、登録区分（システム管理者、施設管理者、担当者など）業務権限、管轄する施設
	13-5	職員は、管轄している施設の予約状況のみを閲覧、入力、変更できること
	13-6	職員の管轄権限は、部屋単位でも設定できること （特定の部屋の予約のみ管轄する）
	13-7	システム管理者は、全施設及び全機能の操作権限を有すること
	13-8	施設の管理権限のほかに、登録区分（権限の段階）を設け、行なえる操作を制限できること （窓口職員はマスタ変更ができないなど）
	13-9	選択された登録区分であっても、職員毎に特定の業務の権限を付加できること （ある職員にのみ、担当者であっても利用者登録権限を付与するなど）
	13-10	職員管理の権限がある職員であっても、自分より上位の権限を持つ職員の情報は変更できないこと
	13-11	職員情報には有効期限の設定ができ、期限を過ぎた職員は無効扱いとなりシステムの使用ができないこと
利用者管理	14-1	利用者情報を登録し、IDとパスワードを発行できること
	14-2	IDは自動発番のほか、手動で発番することもできること
	14-3	利用者が、システムから申請した利用者情報を、職員が審査しIDとパスワードを発行できること
	14-4	ログインパスワードの初期値をランダムな値で発行する、自動発行機能を有すること このとき、文字種を設定によって選択できること （数字のみ、数字+英小文字、英数字） 自動発行機能でアルファベットを使用する場合、「l」「O」「q」「l」などの紛らわしい文字を省くといった配慮がされていること ※利用者が希望する場合も有るので、禁止とはしない
	14-5	利用者登録完了時に、登録情報を印字した登録完了通知（任意）が印刷できること
	14-6	利用者登録完了時に、登録情報を印字した登録完了通知を、メールで送信できること
	14-7	利用者登録情報は、個人登録の場合、個人名/個人名フリガナ/郵便番号/住所/電話番号/メールアドレスの登録ができること
	14-8	利用者登録情報は、団体登録の場合、団体名/団体名フリガナ/団体代表者氏名/団体代表者氏名フリガナ/団体代表者郵便番号/団体代表者住所/団体代表者電話番号/団体代表者メールアドレス/団体担当者氏名/団体担当者氏名フリガナ/団体担当者電話番号/構成人数/活動内容 を登録できること
	14-9	上記のほか、提示された身分証明書の種別などを記録できること。また、その際選択項目は自由に追加できること
	14-10	利用者一覧画面には、名前順や利用者ID順に並び替えできるソート機能があること。
	14-11	利用者の重複登録を防ぐチェック機能があること
	14-12	利用者毎に利用できる施設の設定ができること
	14-13	利用者の最終ログイン（アクセス）時刻を確認できること
	14-14	連続認証エラーによりロックされている利用者IDに対して、職員による解除が行なえること
	14-15	市内/市外および団体/個人の区別ができること
	14-16	利用者の登録期限を設定することができ、有効期限を過ぎた利用日の予約は申し込めないなどの制限があること
	14-17	利用者に自動的に特定の減免を適用させる機能があること また、管理者側からはそれを変更することができること
	14-18	備考などメモを登録することができ、それを窓口職員が予約登録時に確認できること
	14-19	メールアドレスを登録している利用者については、メールの送信設定（送信する、送信しない、抽選結果のみ送信する）を行なえること
	14-20	個別に利用者に宛てたメッセージを利用者側画面（利用者認証後）に掲載できること。 また、メッセージを登録する際には掲載期限を設けることができ、自動的に掲載が開始され、終了されること
	14-21	利用者情報はIDのほか、利用者名や代表者名、電話番号、メールアドレス、有効期限、申請日など複数の条件で検索できること
	14-22	インターネットから受付けた仮登録状態の利用者のみ絞り込んで検索できること
	14-23	検索した利用者を画面表示のほか、帳票および電子データ（CSVなど、加工可能な形式）で出力できること
	14-24	利用者を一定期間システム利用不可の状態にでき、指定した日には自動的にその制限が解除される機能を有すること
	14-25	インターネットから受付けた仮登録状態の利用者を承認し、結果（IDとパスワード）のメールをシステムから送信できること
	14-26	承認時以外でもID、パスワードを通知するメールを送信することができ、内容を編集しての送信も可能であること
14-27	インターネットから受付けた仮登録状態の利用者のうち、自動で送信されたメールが不到達（あるいは未確認）の利用者情報については、ひと目で判るように区別され、削除ができること	
施設管理	15-1	複数の運用の異なる施設を管理できるシステムであること
	15-2	複数の施設を種別などで分類して登録できること また、分類は職員が追加、変更でき、分類しない設定に変更することもできること。

管理者側画面

項目	No	要件	
	15-3	分類、施設、部屋、すべて表示順を設定できること	
	15-4	施設の分類毎に、1利用者あたりの予約件数の月別、週別、日別の制限ができ、それを管理者が変更できること ※月別、週別、日別の制限は複合して設定することもでき、月間ではコマ数（予約可能時間単位の数）で制限し、日別では申込回数で制限するなどの設定も可能であること	
	15-5	施設の情報として、以下を登録でき、管理者による変更が可能であること 名称、電話番号、問合せ先電話番号、URL、施設管理者、管轄部署	
	15-6	インターネットに公開するか否かを施設毎に選択でき、それを管理者が変更できること	
	15-7	受付期間外の空き状況を利用者側画面に表示させるかどうかについて設定ができ、それを管理者が変更できること	
	15-8	料金の端数処理について、施設毎に以下の設定が可能であること 1円未満切捨て/1円未満切上げ/1円未満四捨五入/10円未満切捨て/10円未満切上げ/10円未満四捨五入 /100円未満切捨て/100円未満切上げ/100円未満四捨五入 /	
	15-9	施設ごとに管理者へのメールアドレスを登録できること またのそのメールアドレス宛に利用者画面からの申込みがあった場合にはメールで通知すること	
	15-10	施設ごとにメールの記述（フッターや注意事項）をフリー文字入力できること	
	15-11	利用日お知らせ自動メール（リマインダーメール）を指定の日、時間、送信する、送信しないの指定ができること。 送信日は3種類まで設定が出来ること。	
	15-12	施設毎に消費税を徴収するかしないかが設定できること また、徴収する場合には下記の通り端数処理ができること 1円未満切上げ/10円未満四捨五入/100円未満切捨て/100円未満切上げ/100円未満四捨五入	
	室場登録	16-1	室場名称を登録することができこと
		16-2	定員を設定できること、また定員を超えて利用者画面から申込みができないこと
16-3		最小利用人数を設定できること	
16-4		利用単位に定員を設定できること	
16-5		利用上の注意や特記事項などを、利用者側画面の時間選択画面、利用人数入力画面に部屋毎に掲載できること	
16-6		貸出の単位として、施設の中の部屋（会場）、さらに利用の単位（片面、全面、コートなど）を登録できること	
16-7		利用単位（面分割、コートなど）を登録することができ、それを組み合わせて貸出すことができること。 その際、組み合わせられた利用単位において排他処理がされること （面A+面Bを片面、A+B+C+Dを全面として貸出す場合、片面が予約されているときには全面は予約できない）	
16-8		部屋毎に、使用目的を複数設定できること。また、利用単位のある組合せでのみ使用できる目的を設定できること （全面利用の場合のみ、〇〇で利用可など） その際、部屋内のすべての組合せで使用できる目的については、マスタで設定が可能なこと	
16-9		部屋毎に、適用させる減免の種類を複数設定できること。また、減免適用をさせるかどうかを設定できること	
16-10		部屋毎に、適用させる割増料金の種類を複数設定できること。	
16-11		予約、抽選申込それぞれの支払期限を設定できること	
16-12		支払期限を過ぎた予約を自動で取り消す機能を有すること ただし、支払期限が休館日で窓口払いを受付けられない状況のときは、期限日の夜ではなくその翌日の夜に取り消されること	
16-13		予約の貸出時間単位を部屋毎に設定できること。	
16-14		貸出時間単位については、時間単位ではなく、9：00～12：00、13：00～17：00、18：00～21：00といった不規則な時間割の設定も可能であること	
16-15		区分によって貸出す施設の部屋について、時間帯に区分の名称を設定できること 例）9：00～12：00「午前」、13：00～15：00「午後①」、15：00～17：00「午後②」、18：00～21：00「夜間」など	
16-16		季節によって貸出しの時間が異なる場合にも、自動的に切り替わるように設定できること	
16-17		運用変更により貸出しの時間が変わる場合に、新しい時間割に自動的に切り替わるように設定、登録ができること ※職員による設定が可能であること	
16-18		曜日や祝日か否かによって貸出しの時間が異なる施設についても、特別に貸出不可の処理などをせず、異なる時間で運用ができること	
16-19	定期的な休館日を設定できること 例）毎週〇曜日、第一～第五〇曜日、祝祭日、毎月〇日など		
16-20	定期的な休館日と祝日が重なった際の振替が設定できること		
16-21	システムで自動的に休館とする曜日であっても、管理者が指定した除外日においては休館とならず予約の登録ができること（臨時開館への対応）		
16-22	インターネットに公開するか否かを部屋毎にも選択できること		
16-23	インターネットに空き状況のみを公開する設定ができること また、休館日や閉庁日のみ空き状況を公開といった設定ができること		
16-24	月ごとにインターネットの公開を「する/しない/空き状況のみ」を設定できること 例）〇月～〇月は行事などでの利用が多いため空き状況のみ公開、など		
16-25	インターネットに公開する場合に、公開する時間帯を設定できること ※時間外に非表示にするか空き状況のみ表示させるかも選択可能であること		
16-26	組み合わせられた利用単位毎に、部屋の設定と同様に、インターネットへの公開する/しない/空き状況のみ公開を月単位で設定することが可能であること		



管理者側画面

項目	No	要件
	16-27	部屋毎に、1利用者あたりの予約件数の月別、週別、日別の制限ができ、それを管理者が変更できること ※月別、週別、日別の制限は複合して設定することもでき、月間ではコマ数（予約可能時間単位の数）で制限し、日別では申込回数で制限するなどの設定も可能であること
	16-28	抽選の申込制限については、月内の平日と土日祝を区別し、それぞれ制限することも可能であること
	16-29	市内/市外および団体/個人の区別により、予約や抽選の制限ができること
	16-30	抽選をする/しないを部屋毎に設定できること また、ある利用単位については抽選を受付けないといった設定も可能であること
	16-31	抽選を受け付ける期間、結果を公開する日、当選を確定する期限を部屋毎に設定できること
	16-32	抽選の日程については毎月固定の日程のほか、月によって変動する運用にも対応できること
	16-33	月単位で抽選を受付する・しないを設定できること
	16-34	当選した場合に利用者による当選確定処理を必要とするかどうかを部屋毎に設定できること
	16-35	確定の期間や、制限数を設定できること。 制限数については、部屋単位、施設単位、分類単位で設定可能であること
	16-36	予約受付スケジュールは、〇ヶ月前、〇日前といった設定のほか、〇ヶ月前の〇日〇時といった日時指定も可能であること
	16-37	予約の受け付け期間を、市内/市外の区分毎に設定できること
	16-38	予約受付開始日が閉庁日や休館日と重なった場合、それを自動的にずらすことができること
	16-39	インターネットからの予約取消の可否を部屋毎に設定できること
	16-40	連続申込日の制限ができること
	16-41	インターネットからの予約取消を許可する場合、その締切を次のように設定できること。 利用日の〇日前〇時まで、利用日の〇ヶ月前の〇日〇時
	16-42	組み合わせられた利用単位毎に、料金を設定できること (利用単位がない場合は、部屋毎)
	16-43	料金はコマ（予約時間単位）毎に一定である場合と、コマ毎に金額が異なる場合にも設定が可能であること
	16-44	平日と土日祝あるいは曜日ごとで異なる料金を設定できること
	16-45	季節によって異なる料金設定にも対応できること その切替は、利用日を基準に自動で行なわれること
	16-46	利用時間に関わらず徴収する一定の料金を、設定することができること
	16-47	一日中利用した場合の割引料金に対応できること
	16-48	時間貸しではなく、1回の予約に対して使用料を計算する場合にも対応できること
	16-49	面分割で貸し出す施設において、全面貸出の割引（A+B=全面だが、料金はA+Bの合計よりも安い）に自動計算で対応できること
	16-50	運用変更により料金の改定が行なわれた場合に、利用日を基準として自動的に新料金へ切り替わるように設定できること ※職員による設定が可能であること
	16-51	入場料の有無や利用者の在住区分や利用形態等によって料金が異なる運用について、料金の区分を複数登録、追加できること
	16-52	料金の区分は部屋毎（利用単位の組合せごと）の料金設定につき最大10程度まで設定可能であること
	16-53	利用者画面で表示するコマ数をまとめることができること
	16-54	利用時間選択画面に任意のメッセージを室場ごとに登録（編集）できること
	16-55	申込内容確認画面に任意のメッセージを室場ごとに登録（編集）できること
	16-56	申込完了画面に任意のメッセージを室場ごとに登録（編集）できること
	16-57	利用者画面から予約、抽選申込をする際に催事名入力フィールドを表示させるかどうかを室場ごとに設定できること
	16-58	利用者画面から予約、抽選申込をした際に申込完了画面で料金を表示させるかどうかを室場ごとに設定できること
	16-59	利用者画面から予約、抽選申込をした際に申込完了画面で支払期限日を表示させるかどうかを室場ごとに設定できること
	16-60	利用者画面から予約、抽選申込をする際に質問入力フィールドを表示させるかどうかを室場ごとに設定できること また、質問は3項目登録することができ、回答形式は「複数選択、択一、フリー文字入力」を設定できること
	16-61	付属室場を登録できること
	16-62	付属室場の時間割を設定できること
	16-63	付属室場の料金設定ができること
	16-64	付属室場は面単位（組合せ）単位で結び付けができること
	16-65	冷暖房や照明料金を登録できること
	16-66	冷暖房や照明料金の時間割を設定できること
	16-67	冷暖房や照明料金の料金設定ができること
	16-68	冷暖房や照明料金は面単位（組合せ）単位で結び付けができること
その他	17-1	利用者IDの自動発番が可能であること。 その際に、頭や末尾に特定の文字を付加することができること。また、手入力で発番することも可能であること
	17-2	利用者のパスワード発行時に、ランダムな値を生成する機能を有すること。また、その桁数を指定できること
	17-3	利用者にシステムからメールを送信する際に、管理者にも同じ内容のメールを送信する機能を有すること
	17-4	閉庁日を登録できること
	17-5	祝祭日はシステムが自動判定し入力する必要がないこと
	17-6	利用目的の追加、名称変更が職員により行なえること

管理者側画面

項目	No	要件
	17-7	利用者側には公開しない利用目的を設定できること
	17-8	消費税の税率を登録する機能を有すること。消費税率が変更となる場合には予め適用開始日などを設けて設定することで、自動的に切り替えられること
	17-9	所属部署を登録、追加し、施設情報や利用者情報に適用できること
	17-10	利用者側のサイトのみ閉鎖する機能を有すること。 また、閉鎖されたトップページに表示する文章を入力できること。閉鎖は、手動で解除するほか、自動的に解除されるようにも設定できること
	17-11	ログイン・ログアウトの記録を確認できる画面を有すること（システム管理者権限のみ）
	17-12	トップページへのお知らせ事項を掲載することができること。また、通常のお知らせ事項の投稿と同じ操作で、RSS形式で記事の書き出しができること。
	17-13	システムから自動送信されるメールの文章が編集可能であること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約申込通知メール・ 予約取消通知メール・ 抽選申込通知メール・ 抽選申込消通知メール・ 抽選結果通知メール・ 予約(審査)申込通知メール・ 審査結果通知メール</li> <li>・ 利用日お知らせメール・ 利用登録受付通知メール・ 利用登録完了通知メール・ 利用登録審査結果(不承)通知メール・ 利用者情報変更通知メール・ パスワード再発行キー通知メール・ パスワード変更通知メール</li> </ul>

1 申請書等
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 使用許可申請書</li><li>・ 使用許可書</li><li>・ 見積書</li><li>・ 請求書</li><li>・ 領収書</li><li>・ 減免申請書</li><li>・ 減免許可書</li><li>・ 予約明細書</li><li>・ 公共施設利用システム利用者内容確認書（利用者登録時）</li></ul>
2 一覧表（紙（PDF）及びCSV出力）※ソート順指定ができること
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 利用明細書（月ごと）37ヶ月先まで</li><li>・ 利用料金表（月ごと）37ヶ月先まで</li><li>・ 貸出施設利用状況（月ごと）37ヶ月先まで</li><li>・ 収納済み一覧表__現金（日にち指定）（収納手段指定）</li><li>・ 収納済み一覧表__振込（日にち指定）（収納手段指定）</li><li>・ 予約一覧表</li><li>・ 電気料金明細書（月ごと）37ヶ月先まで</li><li>・ 抽選申請一覧表</li><li>・ 申込方法別集計</li><li>・ 利用者情報一覧</li><li>・ 予約照会（予約申請番号、利用者ID、利用日、処理日、収納状態等で検索～出力）</li></ul>